

電気設備工事特記仕様書

1 工事概要

1.1 工事名

1.2 工事場所

1.3 工期

現場施工期間

西部浄水場浸水災害対策工事

春日部市ーノ割1731番地1 西部浄水場

契約書による

令和 年 月 日 から 令和 年 月 日まで

1.4 工事科目 (○印の付いたものを適用する)

○ 電灯設備

○ 動力設備

・ 配電設備

・ 雷保護設備

・ 受変電設備

・ 電力貯蔵設備

・ 充電設備

・ 構内情報通信網設備

・ 構内交換設備

・ 情報表示設備

・ 映像、音響設備

・ 拡声設備 (非常放送設備)

・ 誘導支援、呼出し設備

・ テレビ共同受信設備

・ テレビ電波障害防除設備

・ 監視カメラ設備

・ 駐車場管制設備

・ 防犯、入退室管理設備

○ 自動火災報知設備

・ 自動閉鎖設備

・ ガス漏れ火災警報設備

・ 電話配管設備

・ 中央監視制御設備

・ 医療関係設備

・ 昇降機設備

1.5 指定部分

○ 無 ・有 (工期: 令和 年 月 日)

1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)

1 専任期間の始期

請負契約締結の日から、(○現場施工に着手するまで (現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで) の期間 ・令和 年 月 日までの期間) については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

2 専任期間の終期

工事完成後、検査が終了し (発注者の都合により検査が延滞した場合は除く。)、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

3 専任期間の中断

自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

1.7 建物概要

管理棟 構造: RC造 階数: 地下1階 地上2階 延面積: 建築図による

1.8 工事概要

建築工事及び機械設備工事に伴う電気設備工事

1.9 同時期発注の関連工事

○ 建築工事 ○ 機械設備工事 ○ 土木工事

2 工事仕様

2.1 共通仕様

(1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、春日部市電気設備工事特別共通仕様書 (以下「特別共通仕様書」という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書 (電気設備工事編)、公共建築設備工事標準図 (電気設備工事編) (以下「標準仕様書等」という。)) 及び監督員の指示に従い施工する。

なお、市営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。

(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。

(3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。

2.2 特記仕様 (特記事項の選択項目は、○印のついたものがなければ※印を適用し、・印のものは適用しない。○印と※印の付いた場合は、共に適用する。)

項 目	特 記 事 項
① 機材等	本工事に使用する機材等は、設計図面に規定するもの又はこれと同等のものとする。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。 使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む機材等を使用しないこと。 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(グリーン購入法)に基く特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。
② 施工条件	施工時間 ※行政機関の休日に関する法律 (S63第91号) に定める行政機関の休日以外。 ・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。
③ 工事用電力・水	本工事に必要な電力及び水などの費用は、受注者の負担とする。
④ 工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくことが ※できる。 ・できない。
⑤ 足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事とする。
⑥ 監督員事務所	本工事で ・設ける (規模) ※設けない
⑦ 保 険	受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを火災が保障対象になっている積立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写し等を監督員に提出する。
⑧ 再使用機材	取外し再使用機材は、清掃及び絶縁抵抗測定等を行い、機能が良好なことを確認した上で取付る。なお、その測定結果表を監督員に提出する。
⑨ 完成図書の納品	完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。また、完成図の中に主要機器一覧表 (名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等) を記載すること。 市営住宅の完成図の提出部数は、A3 2つ折り2部とする。
⑩ 発生材処理	引渡を要するもの以外は構外に搬出し、適切に処理する。 (構外搬出処理費は、※本工事 ・別途) (1) 引渡しを要するもの () (2) 買取処分をするもの (銅屑・鉄屑) (3) 再生資源化を図るもの (蛍光管) 蛍光管等は再資源化施設等に搬入し、全てリサイクルするものとする。 (4) 特別管理産業廃棄物 () ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。

① 金属電線管の塗装

露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。
また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。

② 鍵

壁等の鍵は、既存壁及び別途工事の鍵との整合を極力図るものとする。
(1) 管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記による。

1 3 地中電線路

敷き均し土	管 種 別
良質土	硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性強化ビニル管 (HIVE) 波付硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン被覆鋼管 (PLP)

(2) 地中電線路には、ケーブル埋設溝及び保護シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の保護シートは図面特記による。
(3) 地中電線路の敷設は管方式とし、埋設深さは地表面 (舗装する部分では路盤材下面) から配管の上端まで原則、600mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。

④ 回路の種別

行先の表示

⑤ 電線の接続

湿気が多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付けたうえで絶縁テープ巻きとする。
上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよい。ただし、接続はボックス内とする。

⑥ 電線管の接続

屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施したねじなし工法としてもよい。

⑦ 接地工事

漏電遮断機で保護されている回路と保護されていない回路のD種接地極が共用していない場合の接地線は、混触防止のため、緑色・緑又は緑・青帯で区別する。

1 8 建設発生土の処理

埋戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。
・構外搬出適切処理する。

1 9 再生砂・再生砕石

再生スコン使用

再生砂などは原則使用しない。ただし、監督員の了解を得た場合に限り、表層以外に使用できる。
再生砂使用に先立ち、1購入あたり11棟体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。

⑩ 耐震施工

設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針」(独立行政法人建築研究所監修) を参考とする。
なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。
(1) 設計用水平地震力
機器の重量 [kgf] に、設計用水平震度を乗じたものとする。
なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防護支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
中間階	水 槽 類 (※1)	2.0	1.5	1.5	1.0
	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	防護支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類 (※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防護支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類 (※1)	1.5	1.0	1.0	0.6

【備 考】(※1): 水槽類には、オイルタンク等を含む。
重要機器
配電盤 発電装置 (防災用) 直流電源装置 交流無停電電源装置
交換機 火災報知器受信機 中央監視装置 太陽光発電装置
上層階の定義は次による。
2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
(2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

② 1 あと施工アンカー

機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。
施工は、(一社)日本建築あと施工アンカー協会が資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。
金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。
接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。
(原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。)
あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。

② 2 はつり及びあと

施工アンカー打設

既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所についてX線撮影調査を実施すること。
電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。

2 3 改修部分の足場

本工事で単独に必要なとなる足場は、下記により設ける。
(1) 内部足場 ※ 脚立足場
(2) 外部足場 ※ A種 (枠組足場) ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種
※足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」について (厚生労働省) の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「動きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。

② 4 墜落制止用器具

(フルハーネス型)

※使用を要する 墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン による
・使用を要しない

② 5 施工計画書

※施工に先立ち、次の施工計画書を提出し監督員の承認を受ける
※総合施工計画書 (工程・品質・安全・環境配慮・仮設計画等を含む)
※工種別施工計画書
・電力設備工事 ・受変電設備工事 ・電力貯蔵設備工事
・発電設備工事 ・通信、情報設備工事 ・中央監視制御設備工事
・医療関係設備工事 ・昇降機設備工事
※その他監督員が必要と認めるもの

2 6 アスベスト事前

調査結果の報告

② 7 その他

全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石綿障害予防規則の事前調査を建築物石綿含有建材調査者により実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告する。
(1) 施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。
(2) 本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承諾後製作する。
(3) 本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。
(4) 本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。
(5) 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。
(6) 改修工事等を施工する場合、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。
(7) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。
(8) 本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、停電操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。
(9) 特に騒音振動など周辺に基大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。
(10) 工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。
以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。

2 3 工事別一般事項 (特記事項選択項目は、○印の付いたものを適用する)

項 目	特 記 事 項
① 電灯設備	(1) 配線器具 スイッチ・壁付コンセント (2P15A) は運用形とする。なお、2口コンセントは様式を使用してもよい。 フラッシュプレートは原則としてステンレス又は新金属を使用する。ただし、市営住宅における住戸内のフラッシュプレートについては、樹脂プレートを使用することができる。 コンセント器具に具備されている送り配線端子は使用してはならない。 (2) 照明器具 防災用照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消防法による誘導灯とし、関係法令に適合したものである。 (3) 照度測定 電灯設備工事に際し、新設工事の場合は新設後の、改修工事の場合は改修前と改修後の照度測定をJIS Q 7612「照度測定方法」により、学校においては学校環境衛生基準により実施すること。 (4) 分電盤 分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。 (5) 継手 天井又は壁埋込みの場合のボックスは、塗りしろカバーと仕上り面とが10mm程度以上離れる場合は継手を使用する。ただし、ボード張りで、ボード裏面と塗りしろカバーの間が離れないように施工した場合は、継手を必要としない。 (6) 位置ボックスの省略 ケーブルこころが配線後、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器具に送り配線端子が具備されている場合は、位置ボックスを省略してもよい。
② 動力設備	(1) 動力制御盤及び開閉器箱の塗装色は、監督員の指定した色とする。負荷用送り端子台は1負荷につきU・V・W・Eの4Pを原則とする。 (2) 電動機等各負荷までの接続は、本工事とする。ただし、制御盤以降が別途工事の場合は、当該制御盤の電源側接続までとする。
3 雷保護設備	受雷部突針はLR1とする。
4 受変電設備	高 圧 引 込 引込み口は、設計図に示された位置を電力会社に再確認する。また、ケーブル等の埋設及び、その端末処理は監督員の立会いのうえで施工する。 高圧ケーブル端末部はシースずれ防止対策を施す。 (端末処理 ・耐塩用 ・一般用) 受 電 電 圧 柱上用高圧空气中負荷開閉器 (PAS) 主 道 断 装 置 変圧器設備容量 定格電圧 kV 定格遮断電流 kA 動力用 kVA x 台 電灯用 kVA x 台 高圧進相コンデンサ kVar x 台 直列リアクトル ・6 % ・1 3 % kVar x 台
5 構内情報通信	ネットワーク機器を盤内等に収納する場合は、放熱、耐塵等を考慮する。
6 電力貯蔵設備	・直流電源装置 ・交流無停電電源装置 (概要)
7 発電設備	・ディーゼル発電装置 ・ガスエンジン発電装置 ・ガスタービン発電装置 ・マイクロガスタービン発電装置 ・燃料電池発電装置 ・熱供給 (コージェネレーション) 発電装置 ・太陽光発電装置 ・風力発電装置 (概要)

8 構内交換設備	局線電話の引込位置は、第一種電気通信事業者と打合せのうえで施工する。
⑨ 自動火災報知設備、 ガス漏れ火災警報 設備、拡声設備 (非常放送設備)	(1) 所轄する消防署と打合せのうえ、各関係条例等に従い施工する。 (2) 総合盤内の接続は端子を使用し、回路名を記入しておくものとする。 (3) ガス漏れ警報設備の動作試験は、原則としてガス納入業者立会いのうえで行うものとする。
1 0 昇降機設備	特記なき場合の施工は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) による。 なお、市営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書による。

2.4 取付高さ
壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

名 称	測 点	取付高さ (mm)	
		一 般	市営住宅
スイッチ (一般)	床上～中心	1,300	1,200
〃 (身体障害者用)	〃	1,100	1,000
〃 (人感センサー切換用)	〃	2,000	2,000
コネクタ、電話用7x11、直列ユニット (一般)	〃	300	400
〃 (和室)	〃	150	200
〃 (台上)	台上～中心	150	500
防水型コンセント	床上～中心	500	500
分電盤、制御盤、開閉器箱	〃	(上端1,900以下)1,500	(上端1,900以下)1,500
呼出ボタン (身体障害者用)	〃	900	900
復帰ボタン (〃)	〃	1,800	1,800
廊下表示灯 (〃)	〃	2,000	2,000
端子盤	〃	(上端1,900以下)1,500	2,000

3 その他

3.1 他工事との取合区分

発注図又は工事区分表による。

3.2 図面上の縮尺

図面上の縮尺は、JIS A1版とした縮尺とする。

3.3 疑義

本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

3.4 工事用図面

工事用着手時原設計図 縮小製図 (A3版 A3以上の設計図はA3に縮小)
※要 (部) ・不要

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

第1条 この特記仕様書は、春日部市電気設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水 (以下「濁水」という。) の処理に関し必要な事項を定めるものである。

第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。
・種類及び処理量 汚泥 (油分を含む汚泥) m3
・中間処理施設 市 地内、(株)
・処理方法 ・中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却又は溶融含まず)
・中間処理後、最終処分場又は再資源化 (処理に焼却又は溶融を含む)

2 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。

第3条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥 (油分を含む汚泥) として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。

2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。

3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。

4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票 (以下「マニフェスト」という。)) により管理するものとする。

第4条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。

2 受注者は、工事検査時にマニフェスト原本を提示する。

第5条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。

2 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。

3 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

昇降機の適切な維持管理に係る特記仕様書

第1条 この特記仕様書は、昇降機設備工事 (新設、増設又は更新) において、昇降機を常時適法な状態に維持できるよう必要な事項を定める。なお、この特記仕様書に記載されていない事項は、「昇降機の適切な維持管理に関する指針」による。

第2条 この特記仕様書における用語の定義は、次の各号による。

2 昇降機とは、本工事で施工した昇降機設備をいう。

3 発注者とは、本工事の発注者をいう。

4 受注者とは、本工事の受注者をいう。

5 製造者とは、昇降機の製造者をいう。

6 管理者とは、昇降機の引渡しを受け、施設管理を行う者をいう。

7 保守点検受注者とは、管理者からの委託により、保守、点検業務を受注した者をいう。

第3条 製造者または受注者は、次の各号に掲げる責任を果たすよう努めなければならない。

2 製造者は、製造した昇降機の部品等を、昇降機の引渡しから起算して耐用年数を勘案して適切な期間供給すること。

3 製造者は、適切な維持管理を行うことができるよう、管理者に対して維持管理に必要な情報又は機材を提供又は公開するとともに、問い合わせ等に対応する体制を整備すること。

4 製造者は保守点検受注者からの依頼に対し協力すること。

5 受注者は、製造者に対し、前各号の規定を遵守するよう要請すること。

第4条 この特記仕様書に定めのない事項については、必要に応じて発注者と受注者が協議して定める。

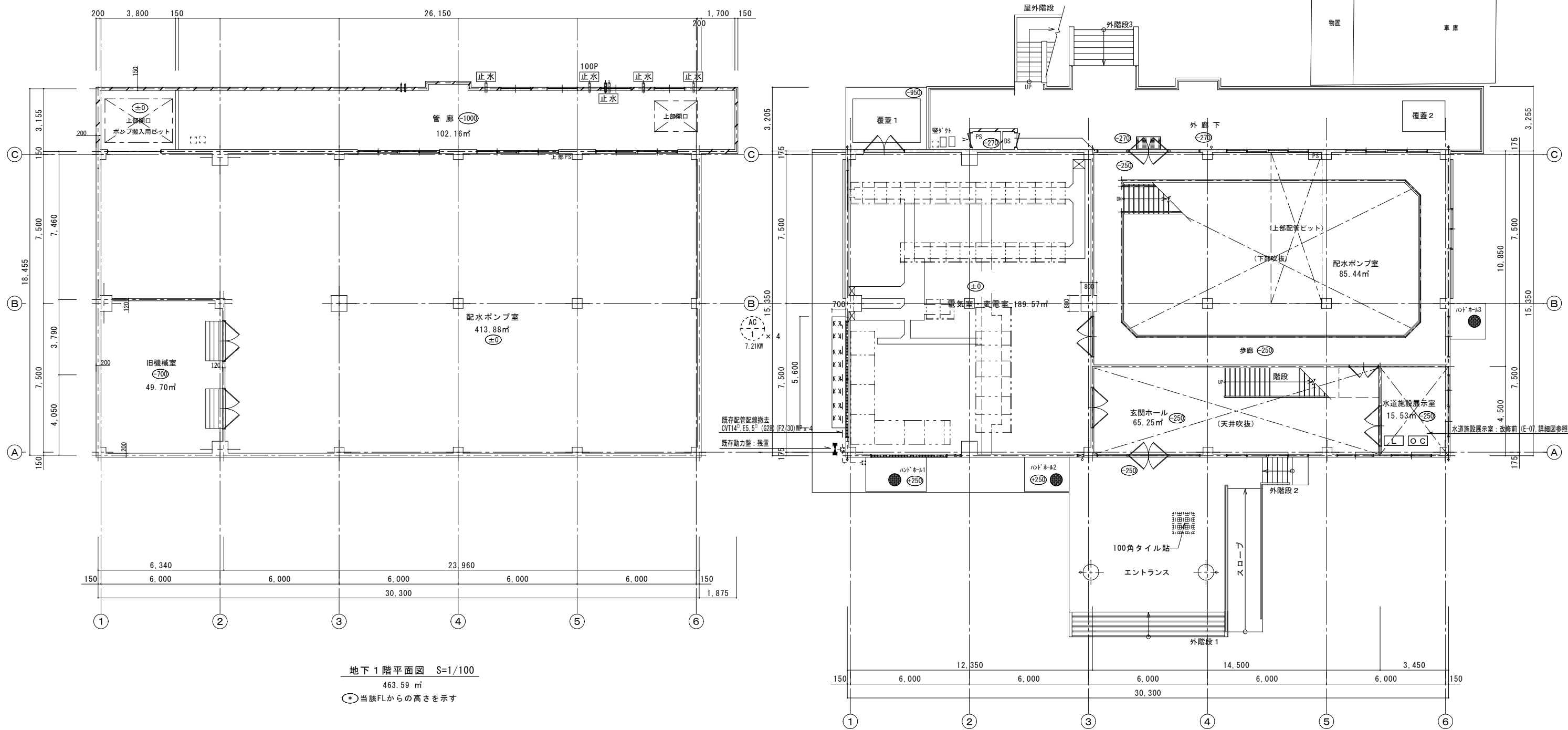
工事範囲の主な既設機器メーカー

機器名称	既設機器メーカー名

2025. 7

	設計年月日	春日部市 上下水道部 工務課	縮 尺	工 事 名 称	図 名	図面番号
			N O N E	西部浄水場浸水災害対策工事	電気設備工事特記仕様書 (1)	E - 0 1

改修前



地下1階平面図 S=1/100

463.59 m²

○* 当該FLからの高さを示す

1階平面図 S=1/100

463.59 m²

○* 当該FLからの高さを示す

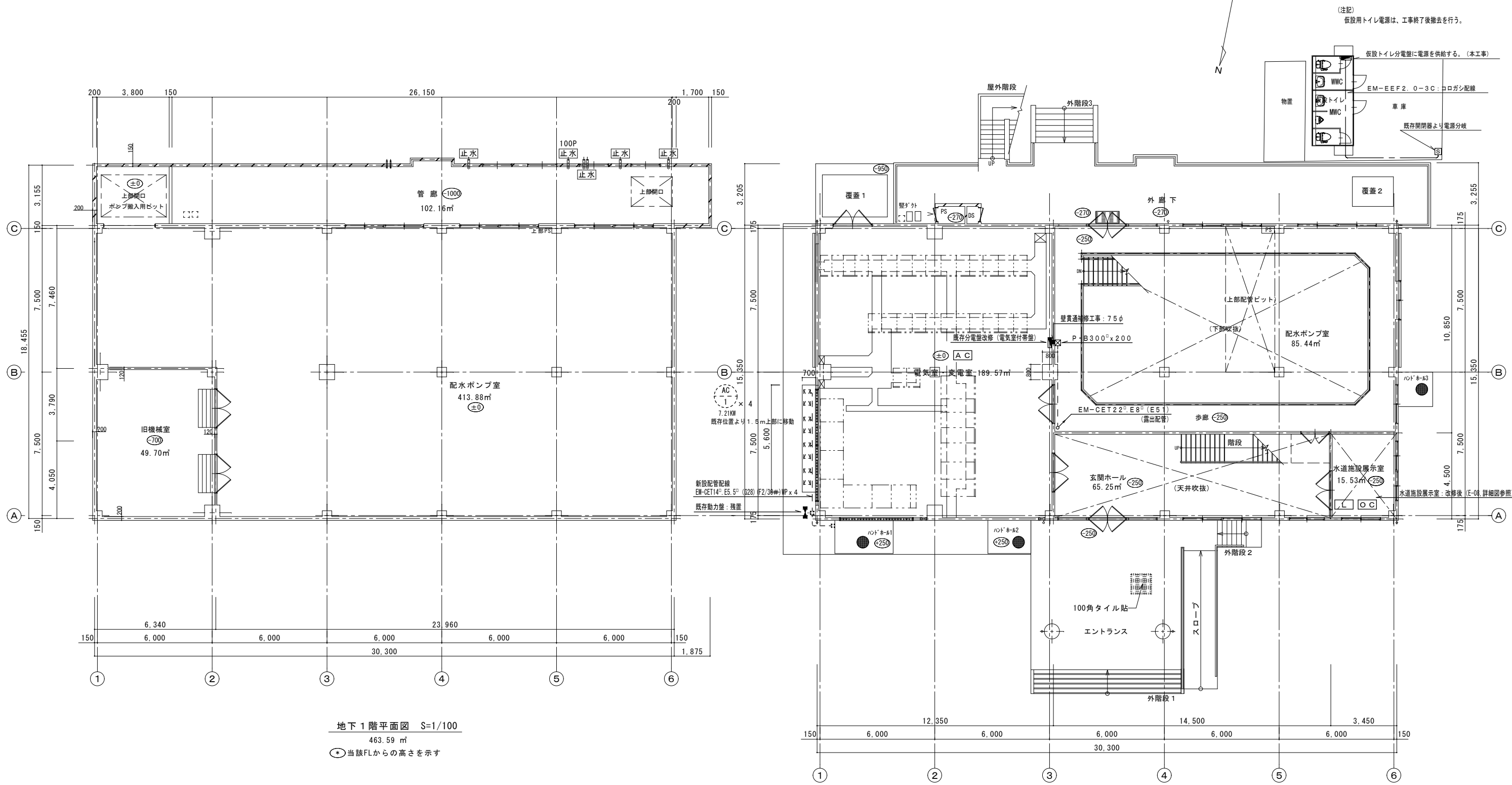
◆凡例

＜建築電気設備工事＞＜建築機械設備工事＞

- L 照明設備更新
- VC 換気設備更新
- OC コンセント設備更新
- AC 空調設備更新
- WS 給排水衛生設備更新
- AFA 自動火災報知設備更新(移設)
- 止水 地下貫通配管周り漏水改修

令和8年度	当初・変更区分	当初	図面サイズ	A1・A3
工 事 名	西部浄水場浸水災害対策工事			
工事箇所	春日部市一ノ割1731番地1 西部浄水場			
図 面 名	電気設備工事 地下1階・1階平面図(改修前)			
縮 尺	1/100 (A1) 1/200 (A3)	図面番号	03	E
春日部市上下水道部 工務課				

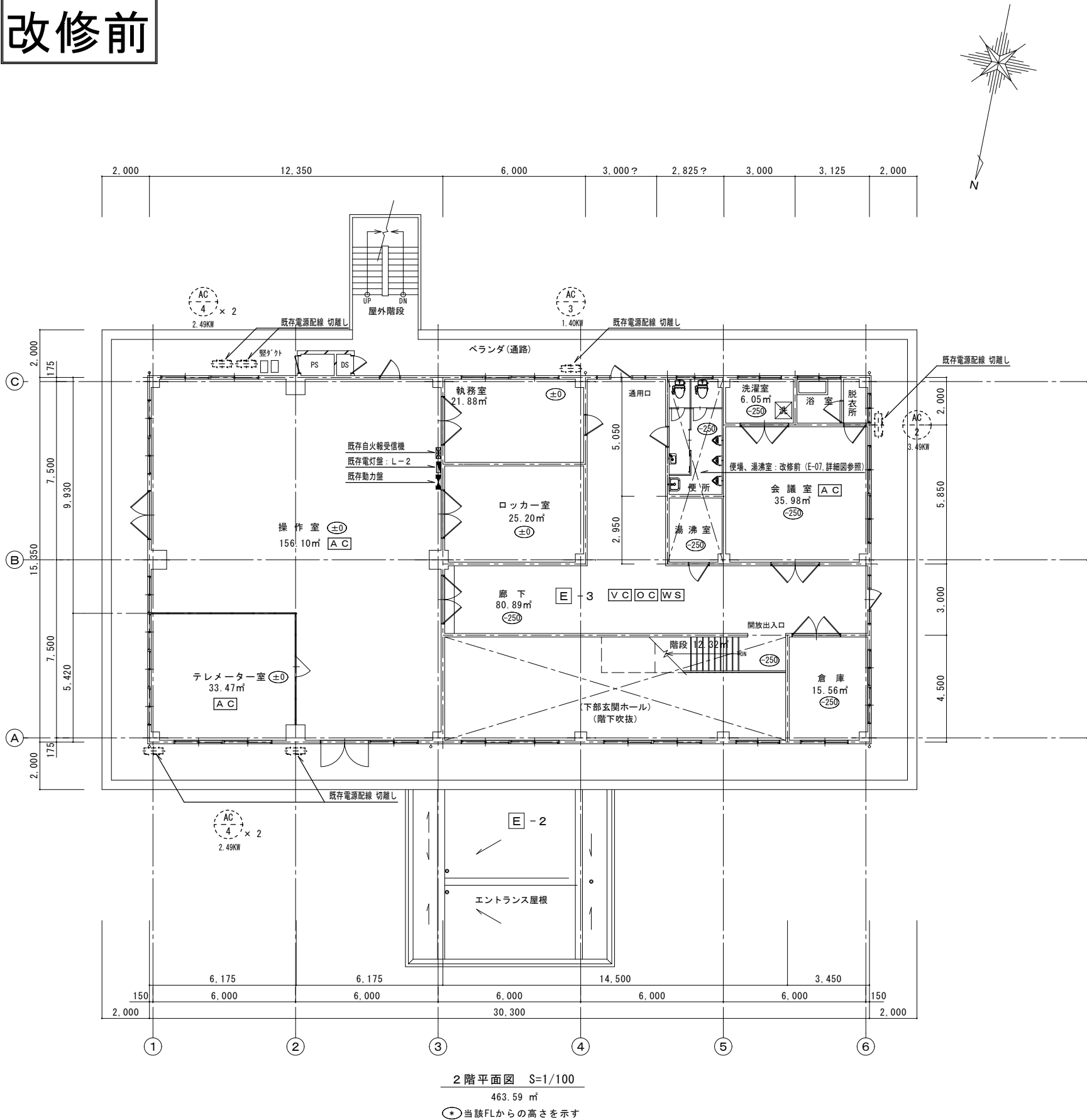
改修後



- ◆凡例
- ＜建築電気設備工事＞＜建築機械設備工事＞
- L 照明設備更新
 - VC 換気設備更新
 - OC コンセント設備更新
 - AC 空調設備更新
 - WS 給排水衛生設備更新
 - AFA 自動火災報知設備更新(移設)
 - 止水 地下貫通配管周り漏水改修

令和8年度	当初・変更区分	当初	図面サイズ	A1・A3
工事名	西部浄水場浸水災害対策工事			
工事箇所	春日部市一ノ割1731番地1 西部浄水場			
図面名	電気設備工事 地下1階・1階平面図(改修後)			
縮尺	1/100 (A1) 1/200 (A3)	図面番号	04	E
春日部市上下水道部 工務課				

改修前

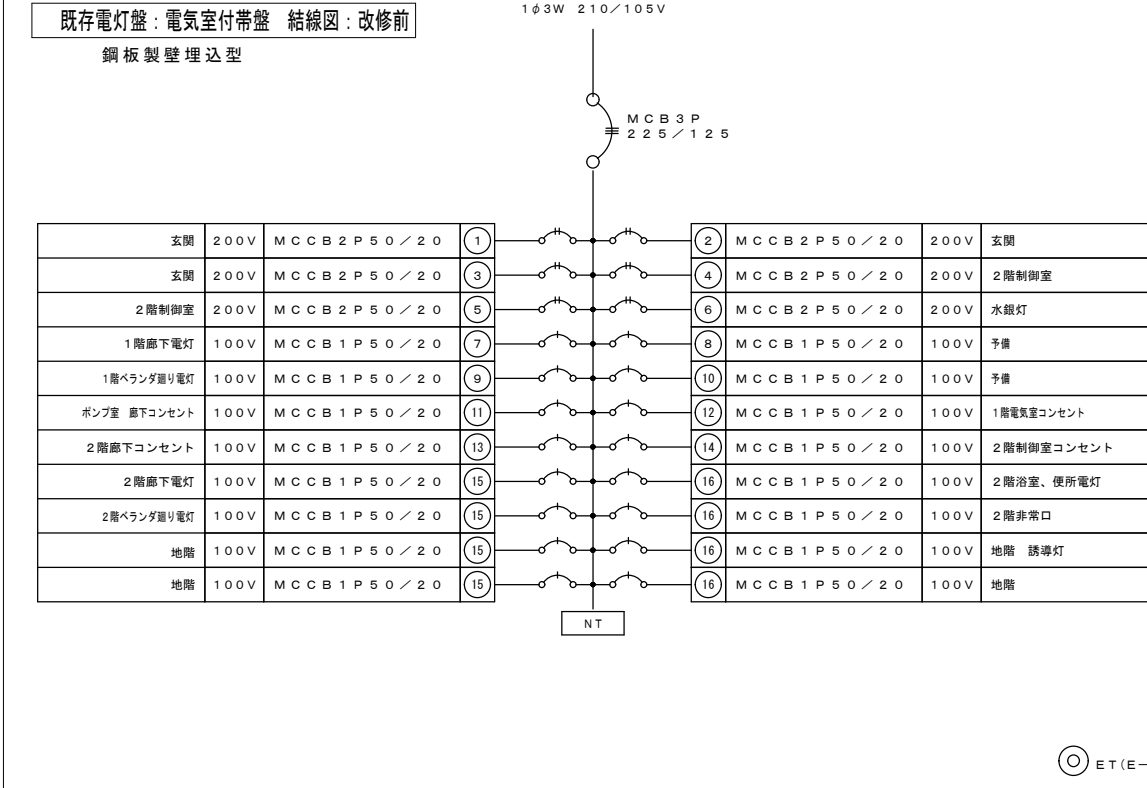


◆凡例

＜建築電気設備工事＞＜建築機械設備工事＞

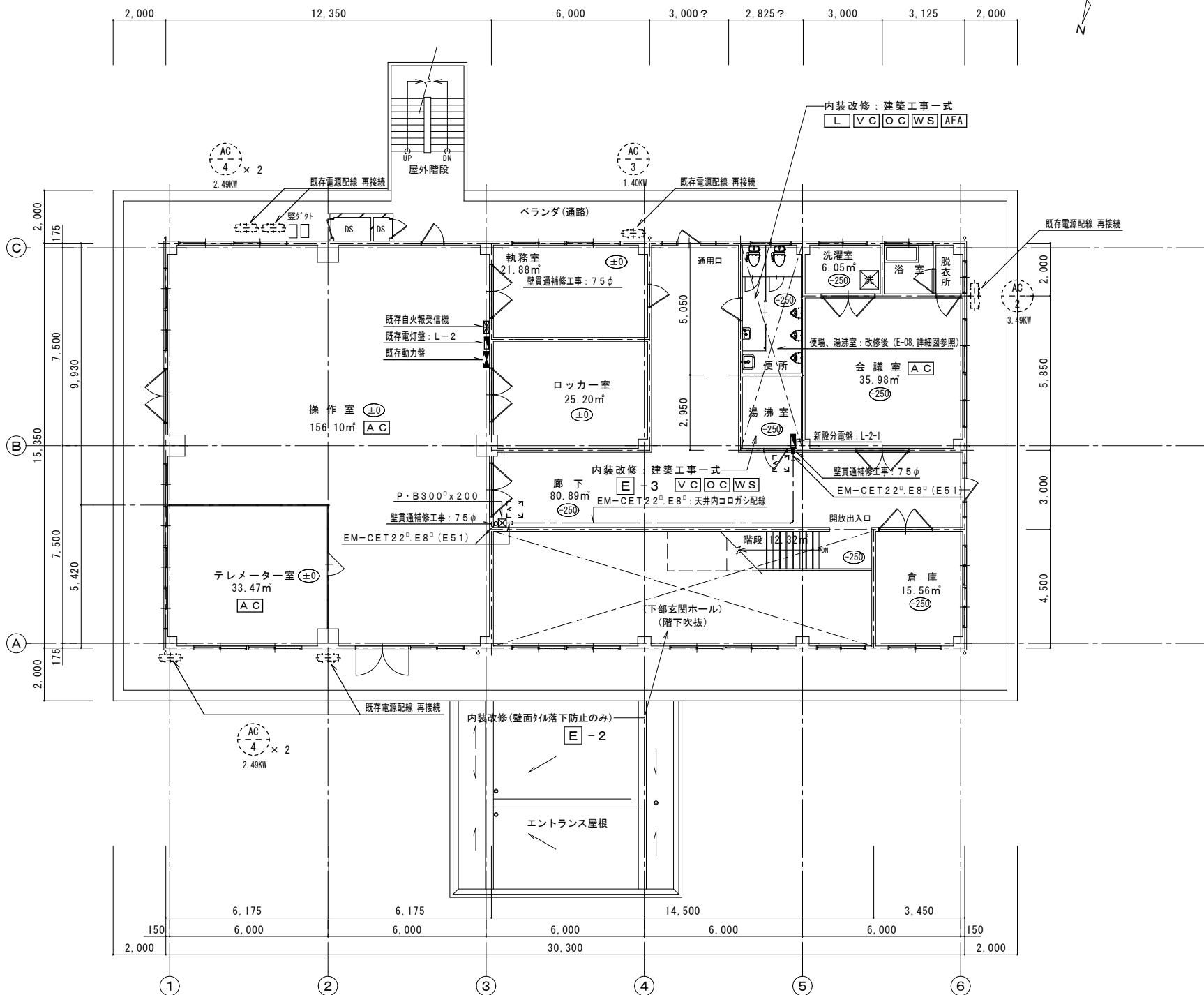
- L 照明設備更新
- VC 換気設備更新
- OC コンセント設備更新
- AC 空調設備更新
- WS 給排水衛生設備更新
- AFA 自動火災報知設備更新(移設)
- 止水 地下貫通配管周り漏水改修

既存電灯盤：電気室付帯盤 結線図：改修前
鋼板製壁埋込型



令和8年度	当初・変更区分	当初	図面サイズ	A1・A3
工事名	西部浄水場浸水災害対策工事			
工事箇所	春日部市一ノ割1731番地1 西部浄水場			
図面名	電気設備工事 2階平面図(改修前)			
縮尺	1/100 (A1) 1/200 (A3)	図面番号	05	E
春日部市上下水道部 工務課				

改修後



2階平面図 S=1/100

463.59 m²

○* 当該FLからの高さを示す

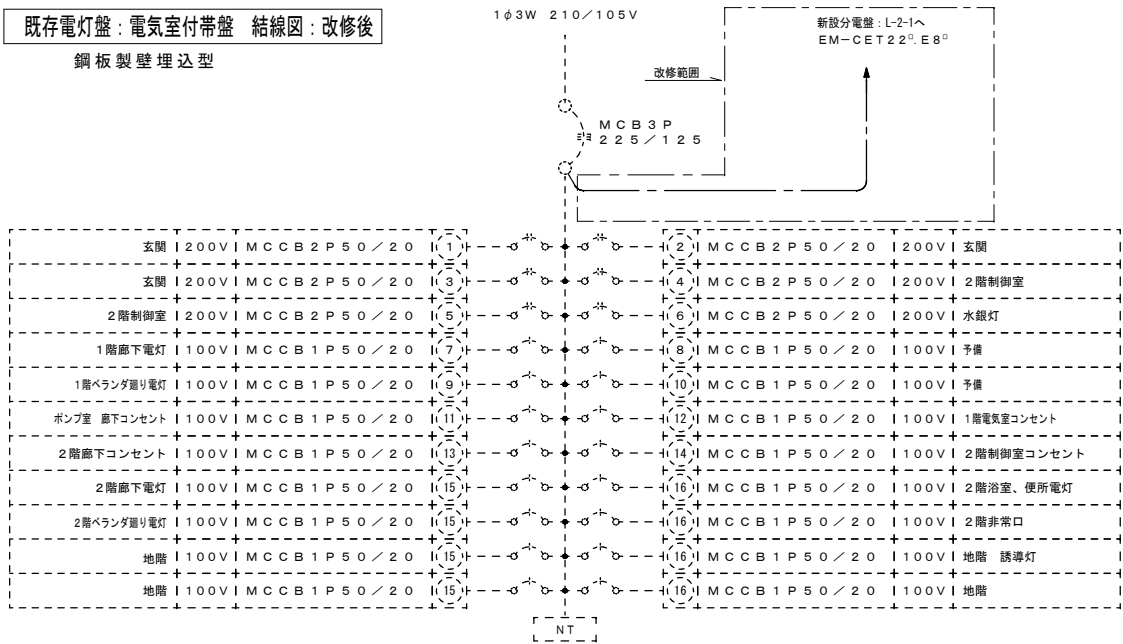
◆凡例

＜建築電気設備工事＞＜建築機械設備工事＞

- L 照明設備更新
- VC 換気設備更新
- OC コンセント設備更新
- AC 空調設備更新
- WS 給排水衛生設備更新
- AFA 自動火災報知設備更新(移設)
- 止水 地下貫通配管周り漏水改修

既存電灯盤：電気室付常盤 結線図：改修後

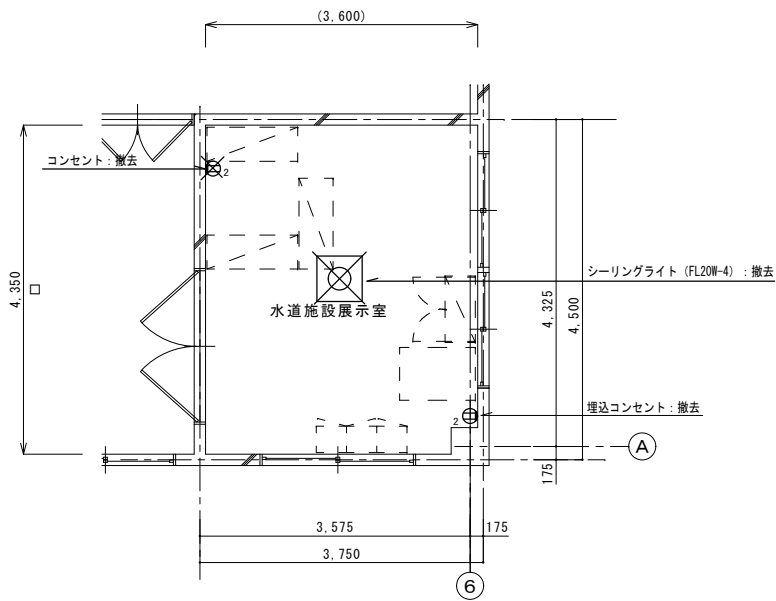
鋼板製壁埋込型



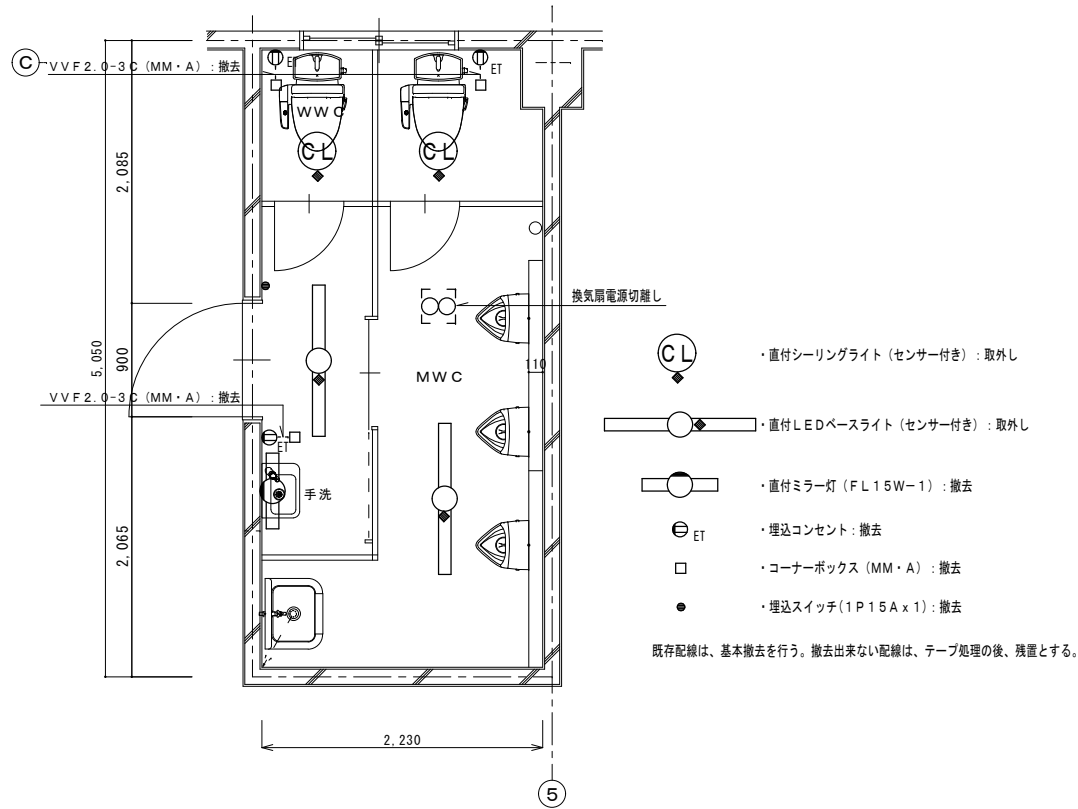
ET (E-D)

令和8年度	当初・変更区分	当初	図面サイズ	A1・A3
工事名	西部浄水場浸水災害対策工事			
工事箇所	春日部市一ノ割1731番地1 西部浄水場			
図面名	電気設備工事 2階平面図(改修後)			
縮尺	1/100 (A1) 1/200 (A3)	図面番号	06	E
春日部市上下水道部 工務課				

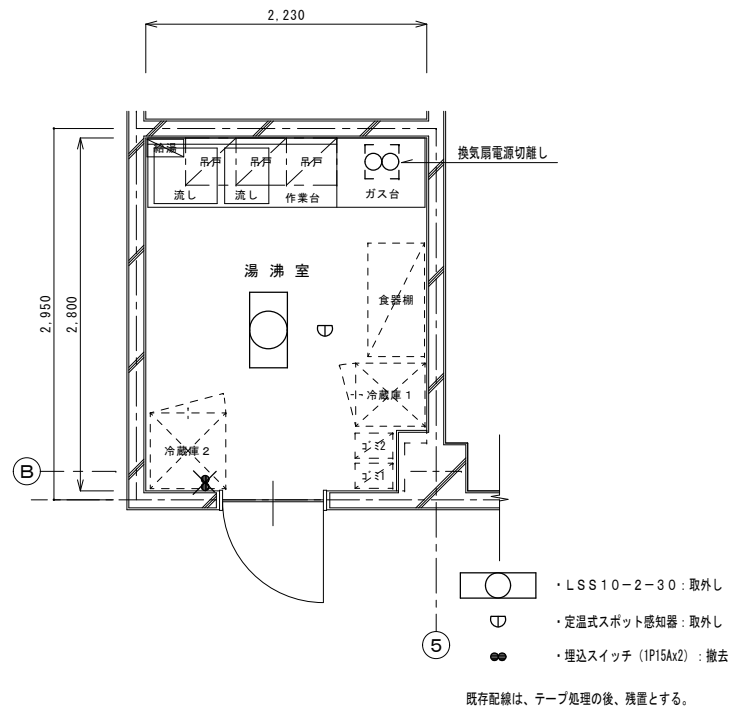
改修前



水道施設展示室 平面図(改修前) S=1/50 16.88 m²



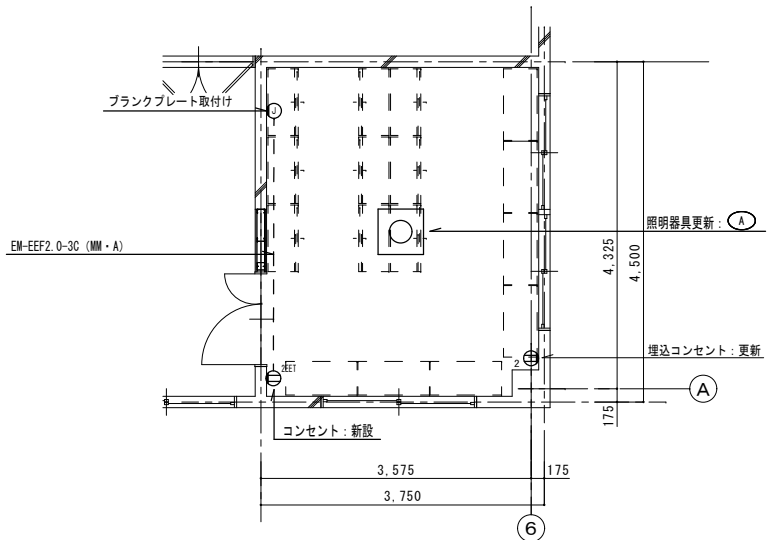
男女トイレ 平面図(改修前) S=1/30



湯沸室 平面図(改修前) S=1/30

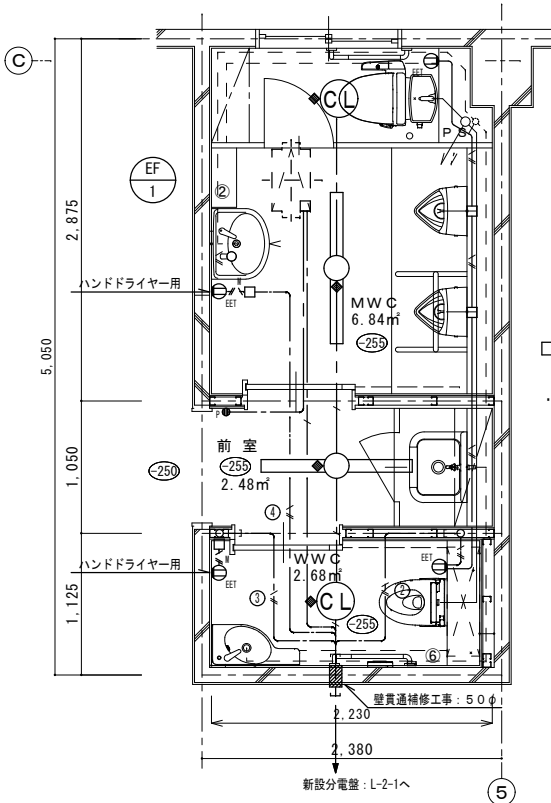
令和8年度	当初・変更区分	当初	図面サイズ	A1・A3
工 事 名	西部浄水場浸水災害対策工事			
工事箇所	春日部市一ノ割1731番地1 西部浄水場			
図 面 名	電灯・火災報知設備 詳細図(改修前)			
縮 尺	1/30, 50 (A1) 1/60, 100 (A3)	図面番号	07	E
春日部市上下水道部 工務課				

改修後

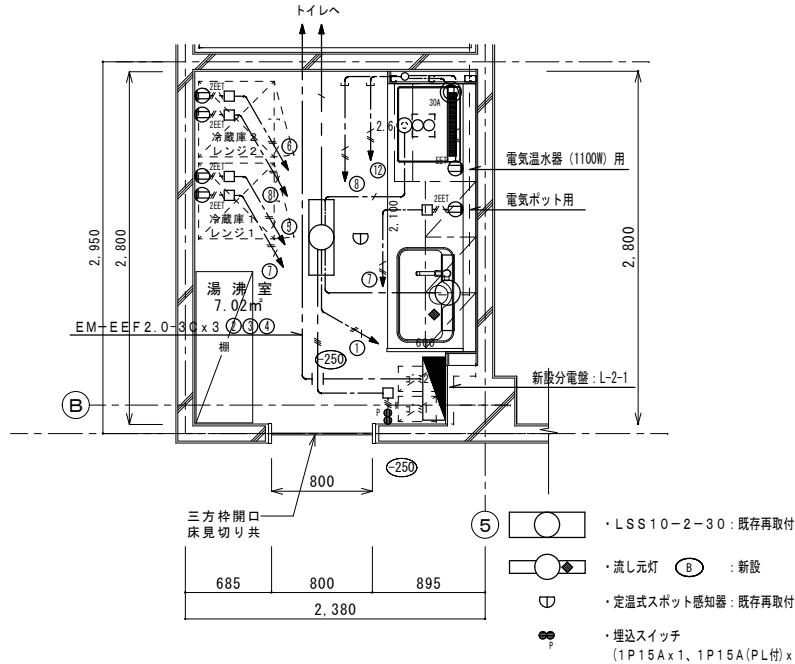


水道施設展示室 平面図(改修後) S=1/50

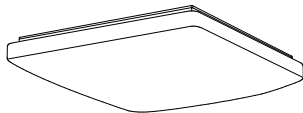
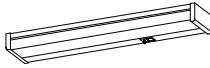
16.88 m²



男女トイレ 平面図(改修後) S=1/30



湯沸室 平面図(改修後) S=1/30

A	直付LEDシーリングライト	B	直付LED流し元灯 (センサー付)
			
LED内蔵、電源ユニット内蔵 昼光色 (6200K)、Ra83 器具光束4100lm、消費電力32.3W、電圧100V プッシュプル方式、カチットF、竿縁天井取付アダプタ対応 光源寿命40000時間 (光束維持率70%) カバー：アクリル (乳白つや消し) リモコンで (100%～5%) 調光、専用リモコン送信器同梱 参考品番：パナソニックLGC3510D		昼光色 (5000K)、Ra83 器具光束980lm、消費電力12W、電圧100V 拡散タイプ、天井直付型・壁直付型 カバー：プラスチック (乳白) タッチレススイッチ付 参考品番：パナソニックLGB52085LE1	

新設電灯盤 (L-2-1) : 結線図

鋼板製露出壁掛型

操作室電灯分電盤より
1φ3W 210/105V

湯沸室、トイレ電灯	213	MCCB 2 P 50 / 20	①	②	MCCB 2 P 50 / 20	640	トイレコンセント
ハンドドライヤー	590	MCCB 2 P 50 / 20	③	④	MCCB 2 P 50 / 20	590	ハンドドライヤー
冷蔵庫用コンセント	500	MCCB 2 P 50 / 20	⑤	⑥	MCCB 2 P 50 / 20	500	冷蔵庫用コンセント
レンジ用コンセント	1200	MCCB 2 P 50 / 20	⑦	⑧	MCCB 2 P 50 / 20	1200	レンジ用コンセント
ポット用コンセント	1000	MCCB 2 P 50 / 20	⑨	⑩	MCCB 2 P 50 / 20	1100	電気温水器用コンセント
予備		MCCB 2 P 50 / 20	⑪	⑫	MCCB 2 P 50 / 30	5800	IHクッキングヒーター 200V

TOTAL : 13333 VA

© ET(E-D)

令和8年度	当初・変更区分	当初	図面サイズ	A1・A3
工事名	西部浄水場浸水災害対策工事			
工事箇所	春日部市一ノ割1731番地1 西部浄水場			
図面名	電灯・火災報知設備 詳細図(改修後)			
縮尺	1/30, 50 (A1) 1/60, 100 (A3)	図面番号	08	E
春日部市上下水道部 工務課				

[illegible]

●環境配慮（グリーン）改修工事

①

アスベスト処理工事一般共通事項

留意事項

1. 本工事は、アスベスト含有のおそれのある吹付け材、保温材又はダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。

2. アスベスト処理を所管する行政の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。

3. この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）（以下「改修標準」という）及び「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（厚生労働省・環境省）による。

2

アスベスト含有分析調査

分析によるアスベスト含有建材の調査

・ 行う（下表による）

材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）
配管エルボ部保温材	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析

採取箇所 ※ 図示

分析対象

※ アスベスト 6 種類（アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トリモライト）

調査方法・分析方法

※ JIS A 1481 規格群（1481-1、2、3、4）「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。

分析結果については、監督員に提出すること。

③

アスベスト粉じん濃度測定

アスベスト粉じん濃度測定

※ 行う（測定名称及び測定点は下表による）

測定箇所 ・ 図示

通 用			測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 （各処理作業ごと）	備考
いへ＃1	いへ＃2	いへ＃3					
○	○	・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	※各2点 ・ 各3点	
○	○	・	測定 2	処理作業前	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
・	・	・	測定 3		処理作業室内	各2点	
○	・	・	測定 4	処理作業中	セキュリティゾーン入口	各1点	空気の流れを確認
○	・	・	測定 5		負圧・除じん装置の排出口 （処理作業室外の場合）	各1点	除じん装置の性能確認
○	○	・	測定 6		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
○	○	○	測定 7	処理作業後 （隔離シート除去前）	処理作業室内	各2点 （いへ＃3は1点）	
○	○	・	測定 8		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
・	・	○	測定 9	処理作業後 （シート除去後1週間以降）	処理作業室内	各2点 （いへ＃3は1点）	
・	・	・	測定 10		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	

アスベスト粉じん濃度測定方法

アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006 空気中の繊維状粒子測定方法－第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差・分散顕微鏡法」による。

測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定 5
計数機器	位相差・分散顕微鏡		
ノズルノズルの直径	25 mm		47 mm
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min
試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野		
計数石綿	直径（幅） 3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さ直径比 3:1 以上の繊維状物質		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l

報告書の作成（記録する項目）

ア 測定結果

イ 測定時間

ウ 測定位置（測定高さとともに図面上に記載）

エ サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）

オ マウンティング方法

カ 顕微鏡視野面積、計数視野数

キ 測定時（各測定場所ごと）天候、温度、湿度、外気の風速及び風向

ク 周辺地形や捕集時の状況を撮影した写真

4

7ｽﾍﾞﾙｽﾄ含有吹き付け材の撤去（レベル1）

アスベスト含有吹付け材の除去

・ 行う 除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。

除去物及び汚染物質等

処理方法

※密封処理（二重袋梱包）

隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。

・ セメント固化

処理を行う吹付けアスベストの仕様

材 料 名	厚さ（mm）	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示 ・

アスベスト含有保温材の除去

・ 行う

作業上の隔離

・ 行う

・ 行わない

処理を行う保温材等アスベストの仕様

材 料 名	厚さ（mm）	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示 ・

1 アスベスト含有成形板の除去

・ 行う

処理を行うアスベスト成形板の仕様等

材 料 名（製品名）	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲
・		※ 図示 ・
・		※ 図示 ・
		※ 図示 ・
		※ 図示 ・

② 非石綿部での切断による除去

・ 行う

処理を行うアスベスト含有物の仕様等

材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲
・設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）		※ 図示 ○撤去範囲すべて
・石綿含有保温材付配管		※ 図示 ○撤去範囲すべて
・石綿含有配管フランジパッキン		※ 図示 ○撤去範囲すべて
		※ 図示 ・撤去範囲すべて

※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれ를考慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。

＜参考＞石綿使用有無の事前調査フロー

（1）設計図書による調査

① 施工年による調査

② 使用建築材料による調査

可能性あり・不明

（2）現場目視による調査

目視調査（建材の確認）

可能性あり・不明

分析を実施しない場合

分析を実施する場合

（3）分析調査による判定

JIS A 1481-2「建設製品中のアスベスト含有率測定方法」など

石綿含有とみなす

石綿含有0.1%を超えていると判断

石綿含有0.1%以下と判断

石綿使用あり・届出要件確認・届出

石綿使用なし

可能性なし

可能性なし

＜参考＞非飛散性石綿含有建材を除去する時の作業フロー

1 成形された配管保温材等を原形のまま取り外しによる除去（レベル2）

成形された配管保温材等を原形のまま取り外す場合には、石綿飛散の程度が比較的低ことから、隔離養生（負圧不要）、散水等による湿潤化による石綿の飛散防止措置を行い、次の手順で除去する。なお、劣化し石綿飛散のおそれがある場合には、石綿含有吹付け材等の切断等による除去と同等の措置を講じる。また、作業中に事前調査により把握していない飛散性石綿含有建材が確認された場合には、直ちに作業を中止し、飛散防止措置を講じるとともに、関係機関に通報する。

＜作業フローチャート＞

石綿作業主任者の選任
作業員への特別教育の実施

工事計画・要領書の作成・届出
必要機器・資材の準備・調達

除去工事実施の表示
外部から見やすい位置に掲示する。

事前清掃

周辺の養生
床養生以外に開口部もシート等で養生する。

粉じん飛散抑制剤の散布・浸透

原形のまま取り外し

破損した場合は、高性能真空掃除機で清掃する。

取り残しがないことの確認

除去面に粉じん飛散防止処理剤散布

養生材の清掃または粉じん飛散抑制剤散布

養生の除去

最終清掃

作業記録

作業に適用した呼吸用保護具・専用の作業衣着利用

所管行政の指導により、特別管理産業廃棄物として最終処分

参考図1 設備機器ダクト接合部の除去方法

参考図2 配管フランジパッキンの除去方法

2 非石綿部での切断による除去【ダクトパッキン・配管パッキン】（レベル3）

建築物のダクトには、接合部に石綿含有物が使用されていることが多い。この場合、直接石綿含有物に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱い作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。

＜作業フローチャート＞

石綿作業主任者の選任
作業員への特別教育の実施

作業計画の作成・作業の届出
必要機器・資材の準備・調達

除去工事実施の表示
（所管行政の指導がある場合）

事前清掃

石綿含有部分以外の部分で切断

プラスチックシートまたは袋で二重梱包

最終清掃

作業記録

切断部分の収集・運搬

最終処分

作業に適用した呼吸用保護具・専用の作業衣着利用

参考図のとおり切断する。

参考図3 石綿含有保温材付配管の除去方法

3 非石綿部での切断による除去【配管保温材】（レベル2）

直接石綿含有保温材に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱い作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。

＜作業フローチャート＞

石綿作業主任者の選任
作業員への特別教育の実施

工事計画・要領書の作成・届出
必要機器・資材の準備・調達

除去工事実施の表示
外部から見やすい位置に掲示する。

事前清掃

周辺の養生
開口部等をシート等で養生する。

配管エルボ部をポリシートまたは養生テープで養生
配管エルボ部を退らしたウエス等で湿潤化

石綿含有部分以外の部分で切断

参考図のとおり切断する。

廃液で安定化し、プラスチックシートまたは袋で二重梱包

最終清掃

作業記録

切断部分の収集・運搬

最終処分
※廃棄する場合、特別管理産業廃棄物として管理責任者を選任し適正に処理すること。

作業に適用した呼吸用保護具・専用の作業衣着利用

参考図のとおり切断する。

参考図3 石綿含有保温材付配管の除去方法

設計年月日

春日部市
上下水道部
工務課

縮尺

NONE

工事名称

西部浄水場浸水災害対策工事

図名

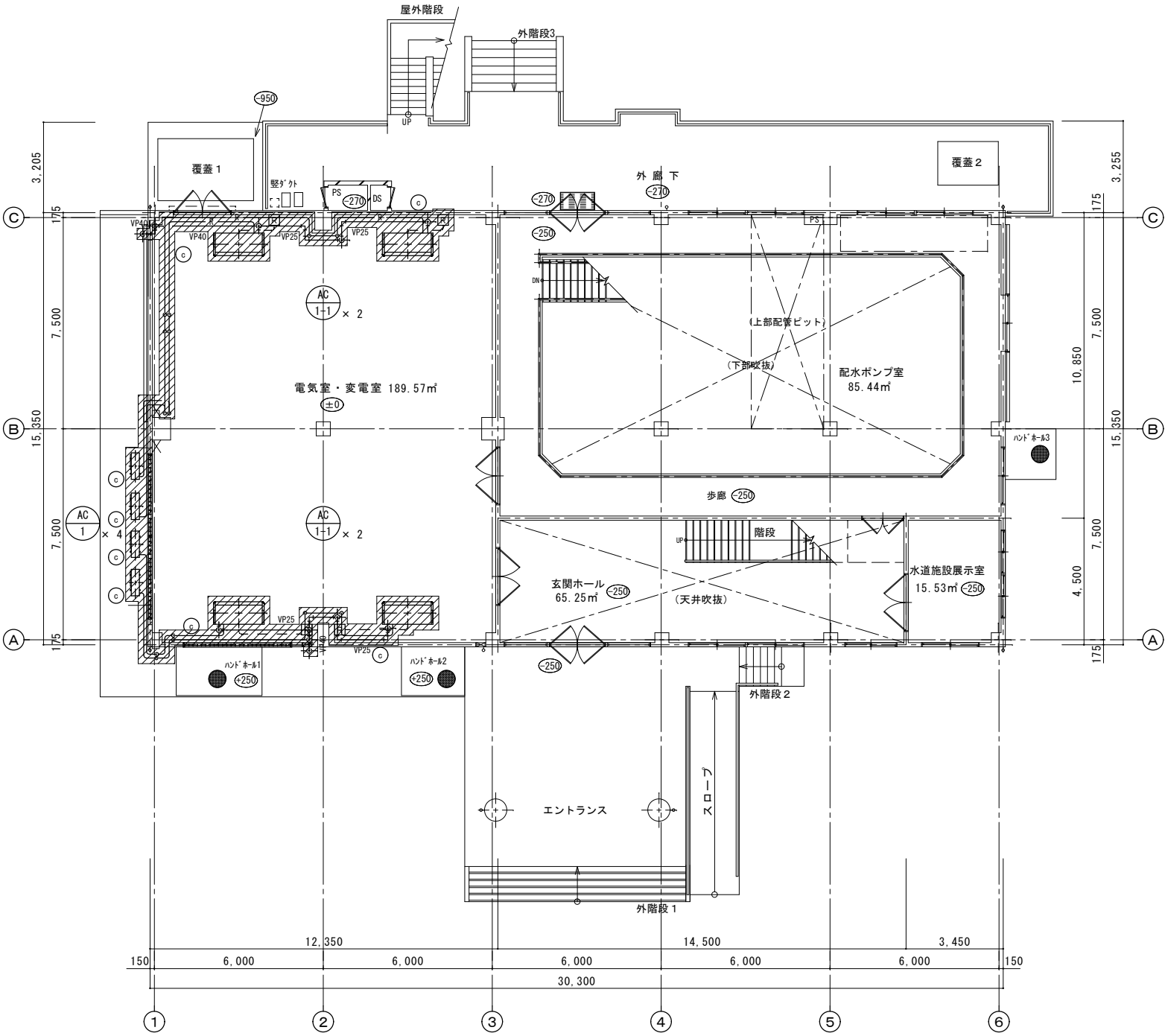
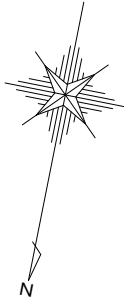
機械設備工事特記仕様書（3）

図面番号

M-03

2025.7

改修前



1 階平面図 S=1/100
463.59 m²
○*当該FLからの高さを示す

機 器 表 (改修前)

記号	機器名称	仕 様	電気容量			台数	設置場所		備 考
			相	電圧 (V)	出力 (kW)		階	室名	
A C－1	室外機	形 式：空冷ヒートポンプ式セパレートインバータエアコン	3	2 0 0		4	1	屋外	撤去
		冷房能力：2 0 . 0 kW (7 . 5 ～ 2 2 . 4 kW)			7 . 0 0				圧縮機出力：3.87kW
		暖房能力：2 2 . 4 kW (8 . 5 ～ 2 8 . 0 kW)			6 . 6 5				
		付 属 品：防振架台 防振ゴム その他付属品共							
A C－1－1	室内機	形 式：天井吊形				4	1	電気室・変電室	撤去
		冷房能力：2 0 . 0 kW							
		暖房能力：2 2 . 4 kW							
		付 属 品：ワイヤードリモコン 取付金具 その他標準付属品共							

注記

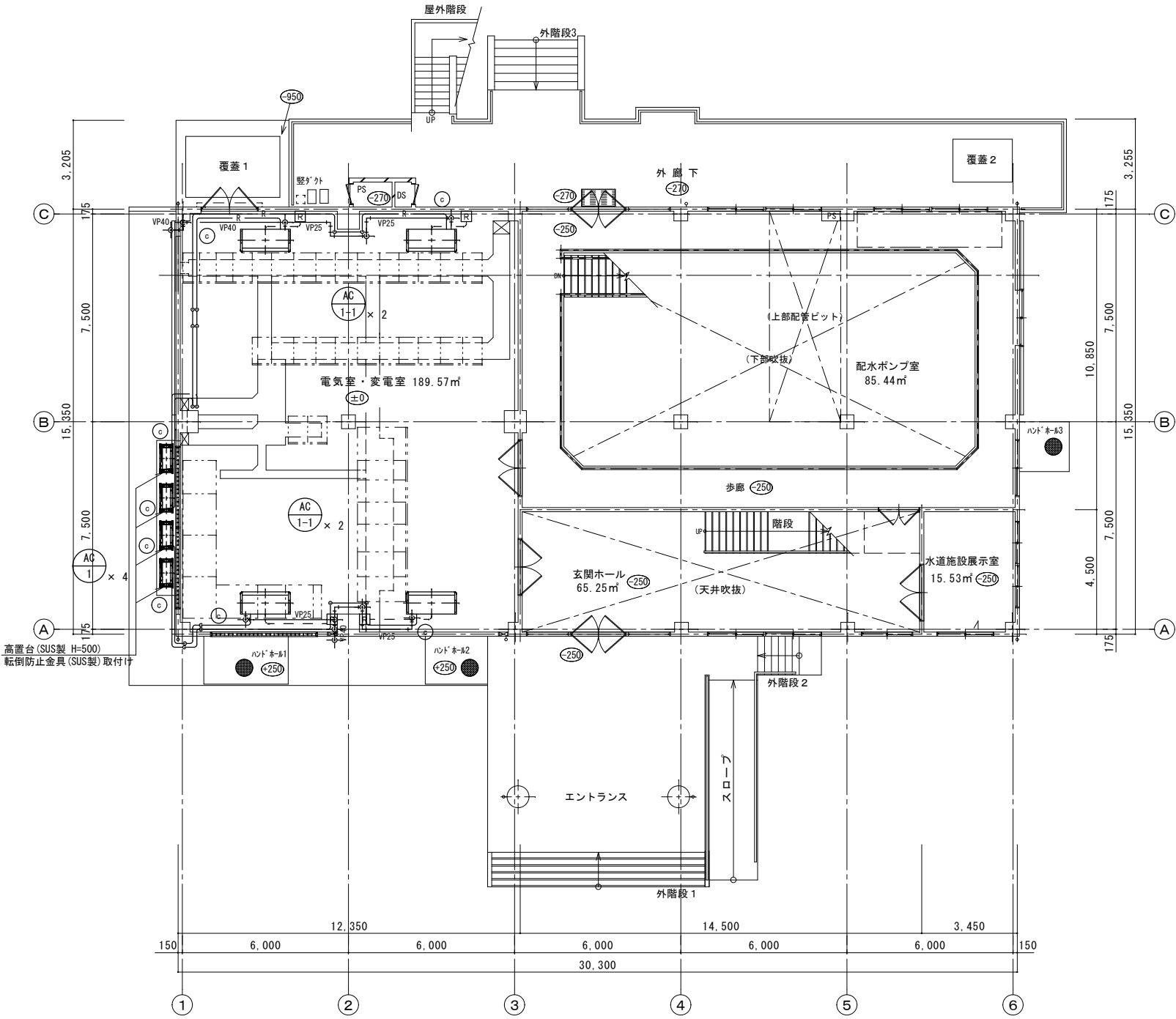
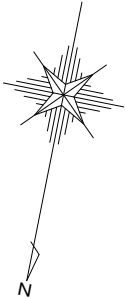
1. 本図中[斜線]は撤去範囲を示す。

凡 例

記号	冷媒管(液管/ガス管)	室内外連絡配線
a	6.4φ/12.7φ	EM-EEF 2.0-3C
b	9.5φ/15.9φ	EM-EEF 2.0-3C
c	9.5φ/25.4φ	EM-EEF 2.0-3C
- -	リモコン配線	EM-CEE1.25 ^D -2C(E19)
R	空調用リモコン	

令和8年度	当初・変更区分	当初	図面サイズ	A1・A3
工 事 名	西部浄水場浸水災害対策工事			
工事箇所	春日部市一ノ割1731番地1 西部浄水場			
図 面 名	空調調和設備 1階平面図 (改修前)			
縮 尺	1/100 (A1) 1/200 (A3)	図面番号	04	M
春日部市上下水道部 工務課				

改修後



1 階平面図 S=1/100
463.59 m²
* 当該FLからの高さを示す

機 器 表 (改修後)

記号	機器名称	仕 様	電 気 容 量		台数	設 置 場 所		備 考	
			相	電 圧 (V)		出力 (kW)	階		室 名
A C-1	室外機	形 式：空冷ヒートポンプ式セパレートインバータエアコン	3	200		4	1	屋外	新設
		冷房能力：20.0kW (10.1～22.4kW)			7.21				圧縮機出力：4.61kW
		暖房能力：22.4kW (10.1～28.0kW)			6.48				
		付 属 品：高置台(SUS製 H=500) 転倒防止金具(SUS製)							
		その他付属品共							
A C-1-1	室内機	形 式：天井吊形				4	1	電気室・変電室	新設
		冷房能力：20.0kW							
		暖房能力：22.4kW							
		付 属 品：ワイヤードリモコン 取付金具 その他標準付属品共							

注記

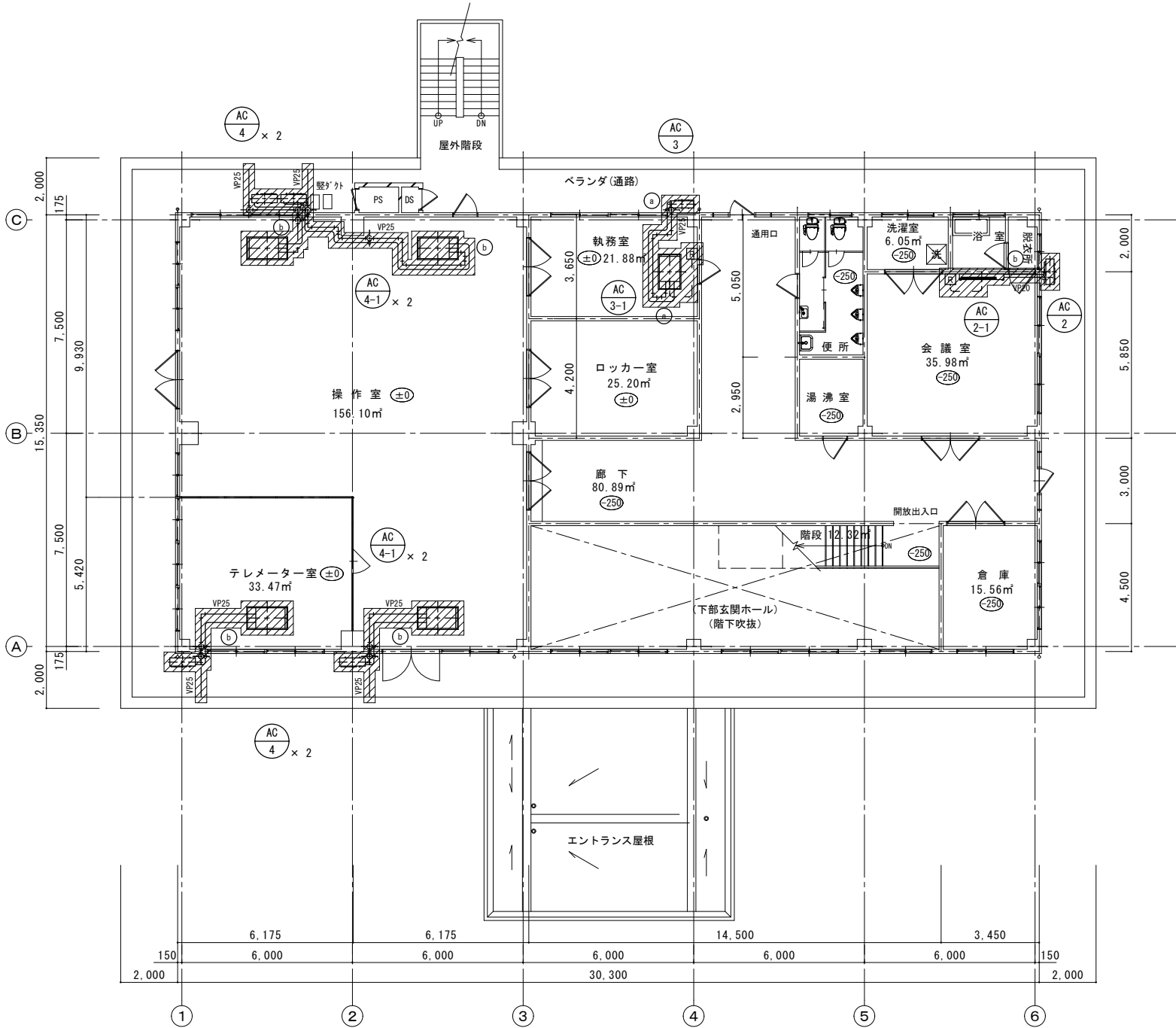
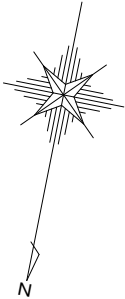
- 機器能力は表示能力以上とする。
- 実線部分を新設、破線部分を既存とする。

凡 例

記号	冷媒管 (液管/ガス管)	室内外連絡配線
a	6.4φ/12.7φ	EM-EEF 2.0-3C
b	9.5φ/15.9φ	EM-EEF 2.0-3C
c	9.5φ/19.1φ	EM-EEF 2.0-3C
- -	リモコン配線	EM-CEE1.25□-2C (E19)
R	空調用リモコン	

令和8年度	当初・変更区分	当初	図面サイズ	A1・A3
工 事 名	西部浄水場浸水災害対策工事			
工事箇所	春日部市一ノ割1731番地1 西部浄水場			
図 面 名	空調調和設備 1階平面図 (改修後)			
縮 尺	1/100 (A1) 1/200 (A3)	図面番号	05	M
春日部市上下水道部 工務課				

改修前



2 階平面図 S=1/100

463.59 m²

○★当該FLからの高さを示す

機 器 表 (改修前)

記号	機器名称	仕 様	電気容量			台数	設置場所		備 考
			相	電圧 (V)	出力 (kW)		階	室名	
A Cー2	室外機	形 式：空冷ヒートポンプ式セパレートインバータエアコン	3	2 0 0		1	2	ベランダ	撤去
		冷房能力：1 0 . 0 kW (5 . 0 ～ 1 1 . 2 kW)				2 . 4 3			圧縮機出力：1.90kW
		暖房能力：1 1 . 2 kW (5 . 1 ～ 1 4 . 0 kW)				2 . 9 0			
		付 属 品：基礎ブロック 防振ゴム その他付属品共							
A C-2-1	室内機	形 式：壁掛形				1	2	会議室	撤去
		冷房能力：1 0 . 0 kW							
		暖房能力：1 1 . 2 kW							
		付 属 品：ワイヤードリモコン 取付金具 その他標準付属品共							
A Cー3	室外機	形 式：空冷ヒートポンプ式セパレートインバータエアコン	3	2 0 0		1	2	ベランダ	撤去
		冷房能力：4 . 5 kW (1 . 6 ～ 5 . 0 kW)				1 . 1 2			圧縮機出力：1.10kW
		暖房能力：5 . 0 kW (2 . 0 ～ 6 . 3 kW)				1 . 2 4			
		付 属 品：基礎ブロック 防振ゴム その他付属品共							
A C-3-1	室内機	形 式：天井カセット1方向形				1	2	執務室	撤去
		冷房能力：4 . 5 kW							
		暖房能力：5 . 0 kW							
		付 属 品：ワイヤードリモコン 取付金具 その他標準付属品共							
A Cー4	室外機	形 式：空冷ヒートポンプ式セパレートインバータエアコン	3	2 0 0		4	2	ベランダ	撤去
		冷房能力：7 . 1 kW (3 . 2 ～ 8 . 0 kW)				1 . 9 4			圧縮機出力：1.70kW
		暖房能力：8 . 0 kW (3 . 5 ～ 1 0 . 6 kW)				2 . 1 8			
		付 属 品：基礎ブロック 防振ゴム その他付属品共							
A C-4-1	室内機	形 式：天井カセット1方向形				3	2	操作室	撤去
		冷房能力：7 . 1 kW				1	2	テレメーター室	
		暖房能力：8 . 0 kW							
		付 属 品：ワイヤレスリモコン 取付金具 その他標準付属品共							

注記

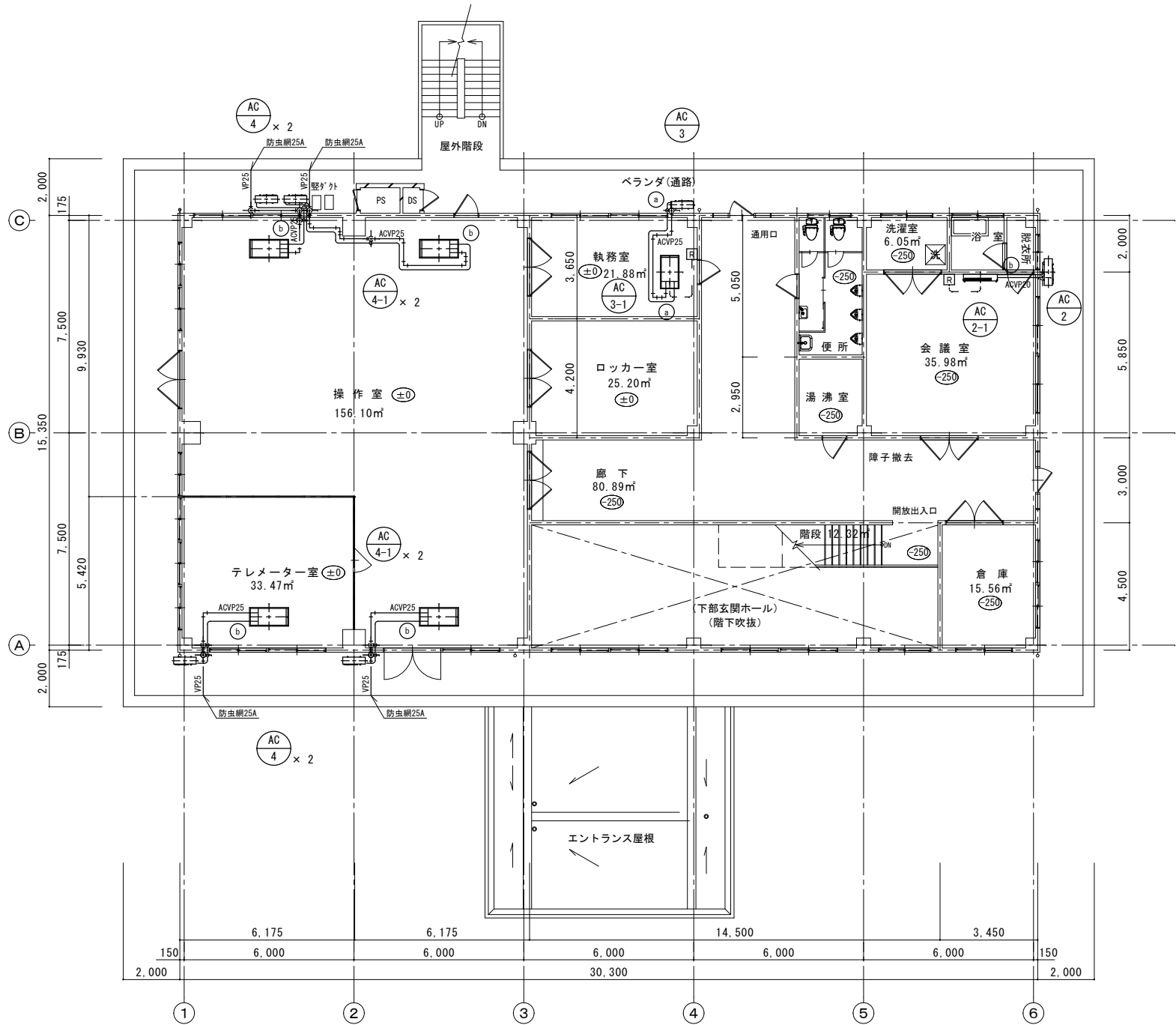
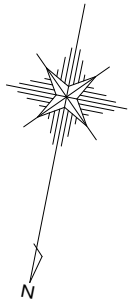
1. 本図中斜線は撤去範囲を示す。

凡 例

記号	冷媒管(液管/ガス管)	室内外連絡配線
a	6.4φ/12.7φ	EM-EEF 2.0-3C
b	9.5φ/15.9φ	EM-EEF 2.0-3C
c	9.5φ/25.4φ	EM-EEF 2.0-3C
-	リモコン配線	EM-CEE1.25 [□] -2C(E19)
R	空調用リモコン	

令和8年度	当初・変更区分	当初	図面サイズ	A1・A3
工 事 名	西部浄水場浸水災害対策工事			
工事箇所	春日部市一ノ割1731番地1 西部浄水場			
図 面 名	空気調和設備 2階平面図 (改修前)			
縮 尺	1/100(A1) 1/200(A3)	図面番号	06	M
春日部市上下水道部 工務課				

改修後



2 階平面図 S=1/100

463.59 m²

○* 当該FLからの高さを示す

機 器 表 (改修後)

記号	機器名称	仕 様	電気容量		台数	設置場所		備 考
			相	電圧(V)		階	室名	
AC-2	室外機	形 式：空冷ヒートポンプ式セパレートインバータエアコン	3	200		1	ベランダ	新設
		冷房能力：10.0kW(4.8~11.2kW)						圧縮機出力：1.95kW
		暖房能力：11.2kW(5.1~14.0kW)						
		付 属 品：基礎ブロック 防振ゴム その他付属品共						
AC-2-1	室内機	形 式：壁掛形				1	会議室	新設
		冷房能力：10.0kW						
		暖房能力：11.2kW						
		付 属 品：ワイヤードリモコン 取付金具 その他標準付属品共						
AC-3	室外機	形 式：空冷ヒートポンプ式セパレートインバータエアコン	3	200		1	ベランダ	新設
		冷房能力：4.0kW(1.8~4.5kW)						圧縮機出力：0.78kW
		暖房能力：4.5kW(2.1~5.9kW)						
		付 属 品：基礎ブロック 防振ゴム その他付属品共						
AC-3-1	室内機	形 式：天井カセット1方向形				1	執務室	新設
		冷房能力：4.0kW						
		暖房能力：4.5kW						
		付 属 品：ワイヤードリモコン 取付金具 その他標準付属品共						
AC-4	室外機	形 式：空冷ヒートポンプ式セパレートインバータエアコン	3	200		4	ベランダ	新設
		冷房能力：7.1kW(3.2~8.0kW)						圧縮機出力：1.70kW
		暖房能力：8.0kW(3.6~9.5kW)						
		付 属 品：基礎ブロック 防振ゴム その他付属品共						
AC-4-1	室内機	形 式：天井カセット1方向形				3	操作室	新設
		冷房能力：7.1kW						
		暖房能力：8.0kW						
		付 属 品：ワイヤレスリモコン 取付金具 その他標準付属品共						

注記

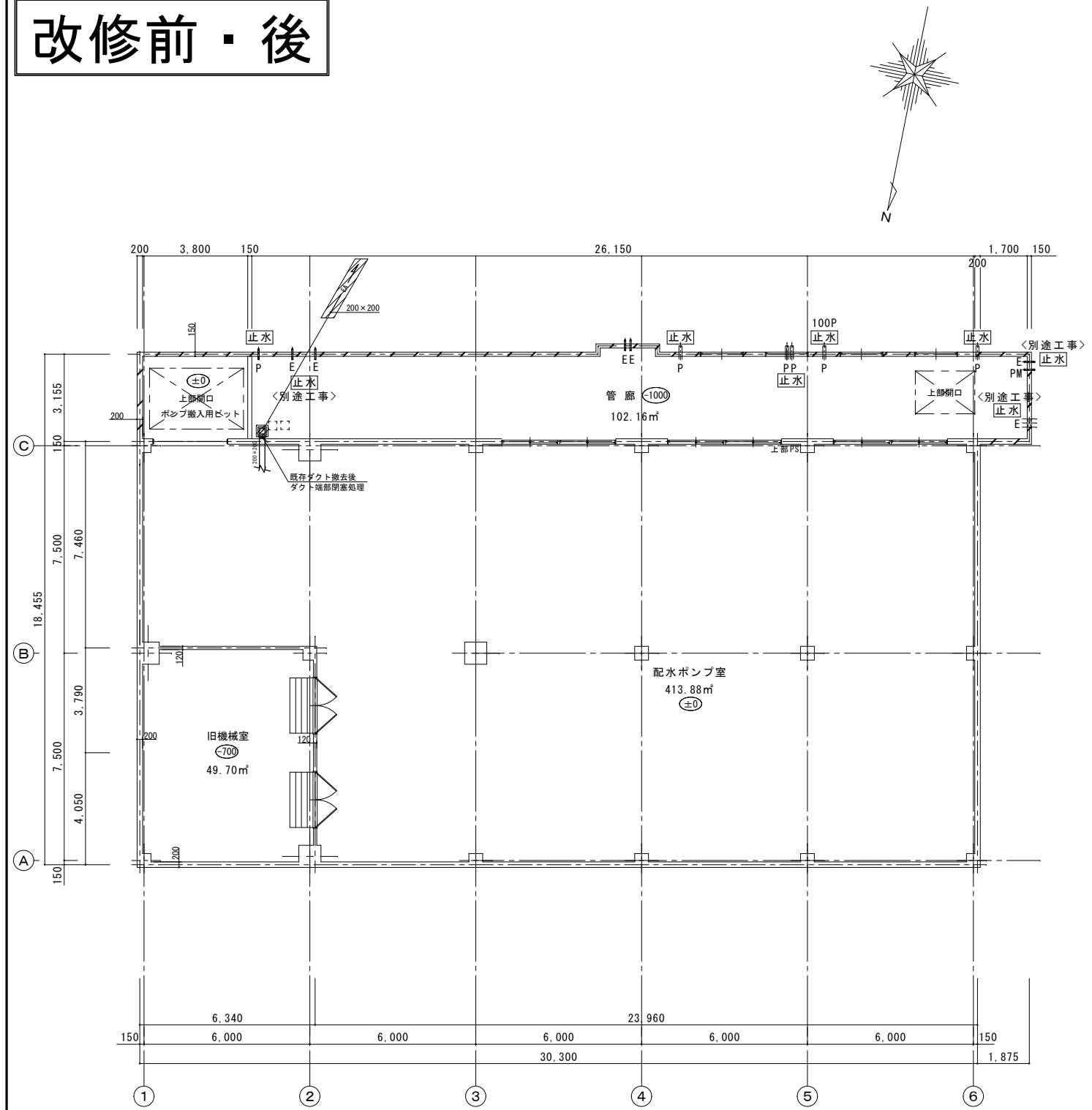
- 機器能力は表示能力以上とする。
- 実線部分を新設、破線部分を既存とする。

凡 例

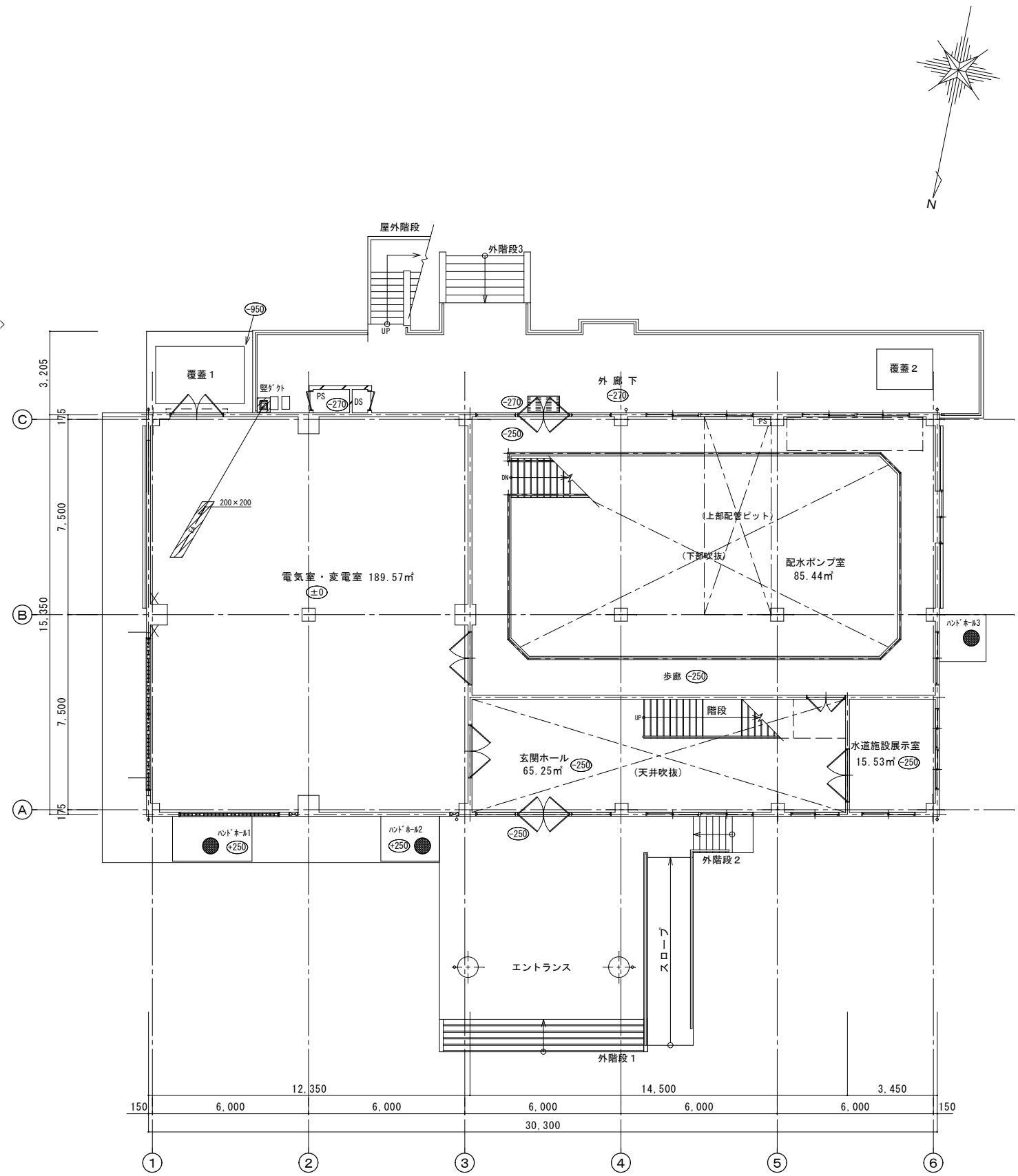
記号	冷媒管(液管/ガス管)	室内外連絡配線
○a	6.4φ/12.7φ	EM-EEF 2.0-3C
○b	9.5φ/15.9φ	EM-EEF 2.0-3C
○c	9.5φ/19.1φ	EM-EEF 2.0-3C
—	リモコン配線	EM-CEE1.25 [□] -2C(E19)
□R	空調用リモコン	

令和8年度	当初・変更区分	当初	図面サイズ	A1・A3
工 事 名	西部浄水場浸水災害対策工事			
工事箇所	春日部市一ノ割1731番地1 西部浄水場			
図 面 名	空気調和設備 2階平面図 (改修後)			
縮 尺	1/100 (A1) 1/200 (A3)	図面番号	07	M
春日部市上下水道部 工務課				

改修前・後



地下1階平面図 S=1/100
463.59 m²
○当該FLからの高さを示す



1階平面図 S=1/100
463.59 m²
○当該FLからの高さを示す

注記
1. 本図中 $\square$ は撤去範囲を示す。

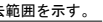
令和8年度	当初・変更区分	当初	図面サイズ	A1・A3
工事名	西部浄水場浸水災害対策工事			
工事箇所	春日部市一ノ割1731番地1 西部浄水場			
図面名	換気設備 地下1階・1階平面図 (改修前・後)			
縮尺	1/100 (A1) 1/200 (A3)	図面番号	08	M
春日部市上下水道部 工務課				

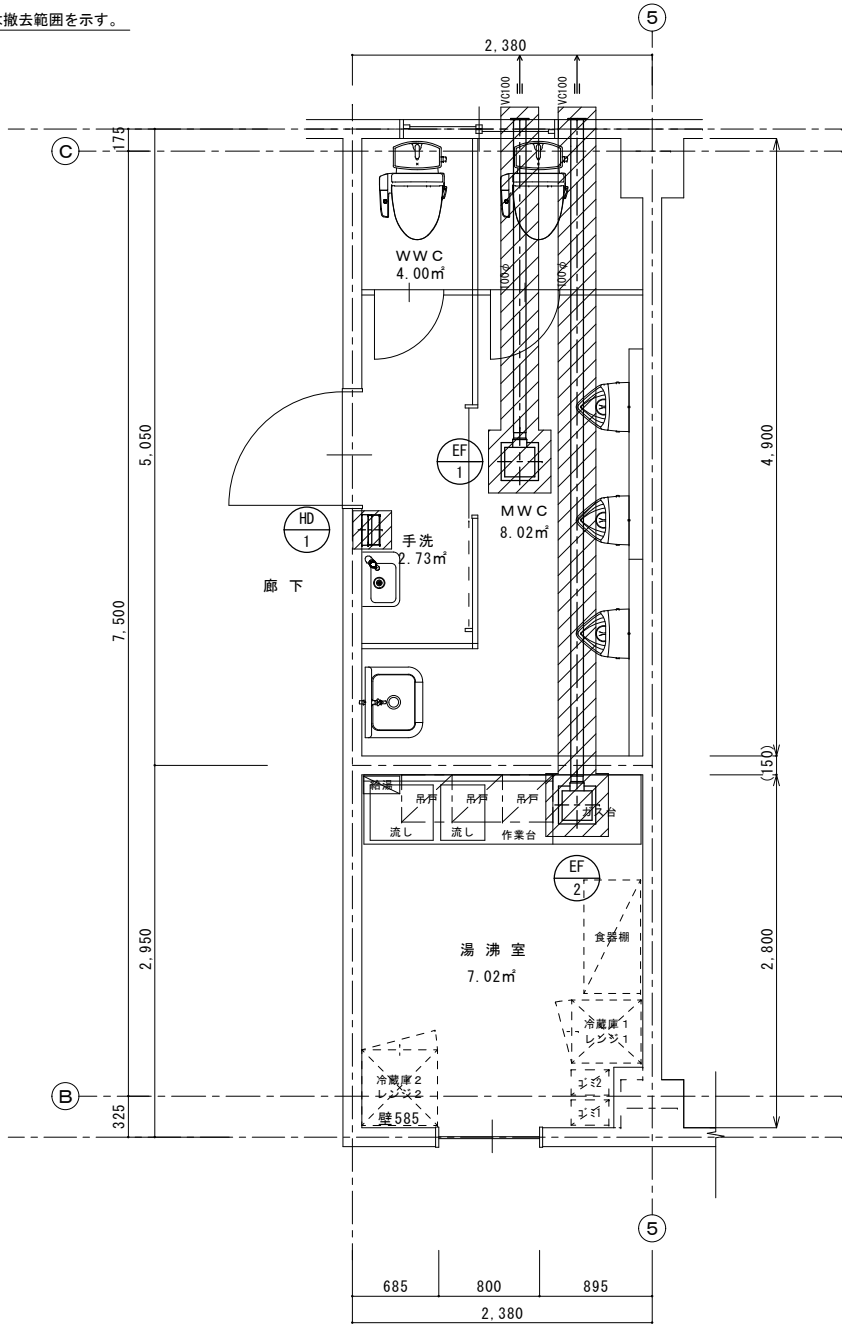
改修前

機 器 表 (改修前)

記号	機器名称	仕 様	電気容量			台数	設置場所		備 考
			相	電圧 (V)	出力 (W)		階	室名	
EF-1	排気ファン	形 式：天井埋込形（低騒音タイプ） 能 力：100φ×100m³/h 付 属 品：天吊金具 その他標準付属品共	1	100	35	1	2	トイレ	撤去
EF-2	排気ファン	形 式：天井埋込形（低騒音タイプ） 能 力：100φ×100m³/h 付 属 品：天吊金具 その他標準付属品共	1	100	35	1	2	湯沸室	撤去
HD-1	ハンドドライヤー	形 式：壁掛形片面ジェット風 能 力：120m/s 付 属 品：その他付属品共	1	100	770	1	2	手洗	撤去

注記

1. 本図中は撤去範囲を示す。



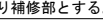
2 階水廻り 平面図(改修前) S=1/30

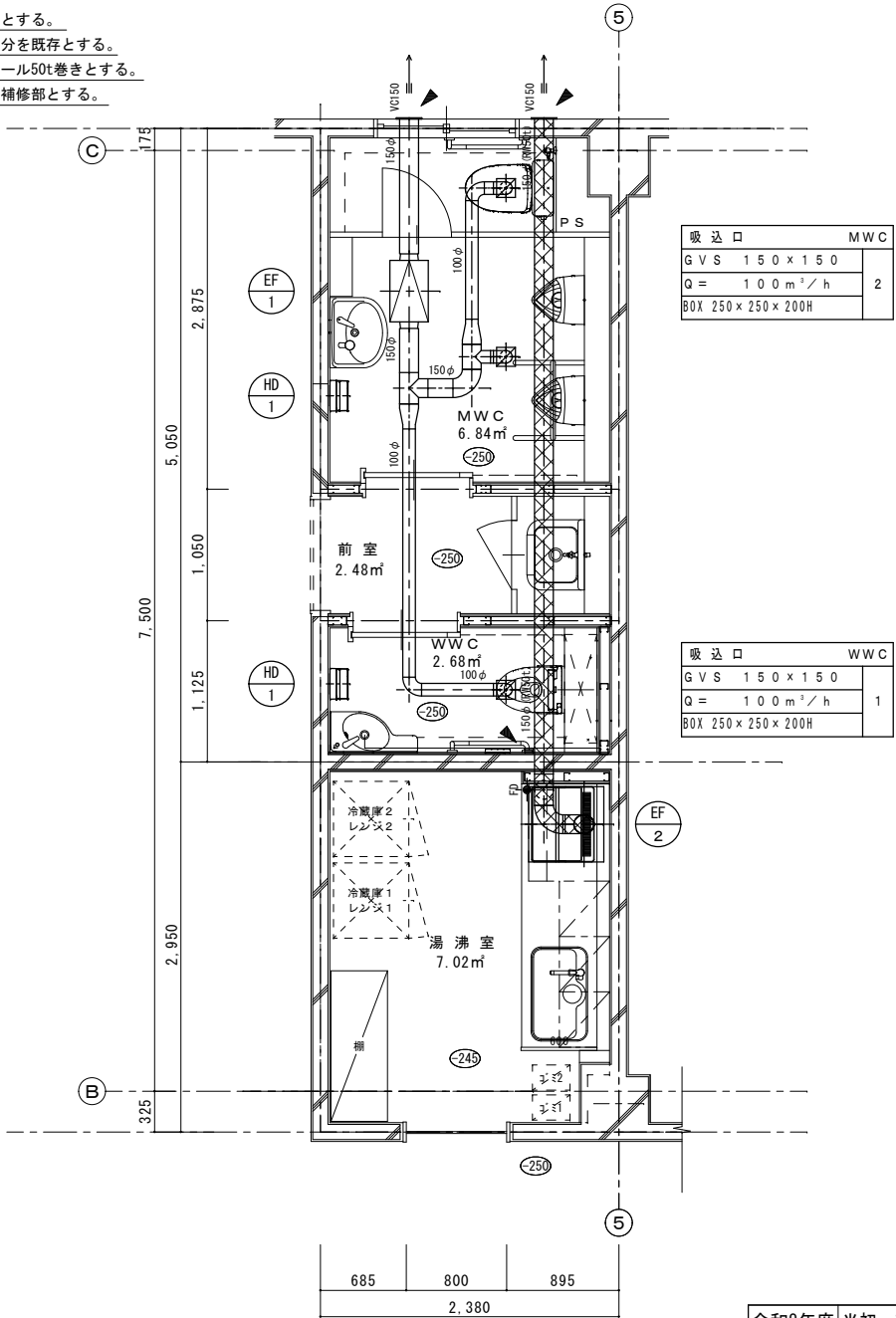
改修後

機 器 表 (改修後)

記号	機器名称	仕 様	電気容量			台数	設置場所		備 考
			相	電圧 (V)	出力 (W)		階	室名	
EF-1	排気ファン	形 式：ストレートシロッコファン（消音形） 能 力：150φ×300m³/h×70Pa 付 属 品：防振吊金具 その他標準付属品共	1	100	57	1	2	トイレ	新設
EF-2	排気ファン	形 式：レンジフードファン（銅板製） 能 力：150φ×390m³/h×70Pa 付 属 品：フィルター 側板 その他付属品共	1	100	77	1	2	湯沸室	新設
HD-1	ハンドドライヤー	形 式：壁掛形片面ジェット風 能 力：110m/s×1.4m³/min 付 属 品：その他付属品共	1	100	590	1	2	MWC	新設
						1	2	WWC	

注記

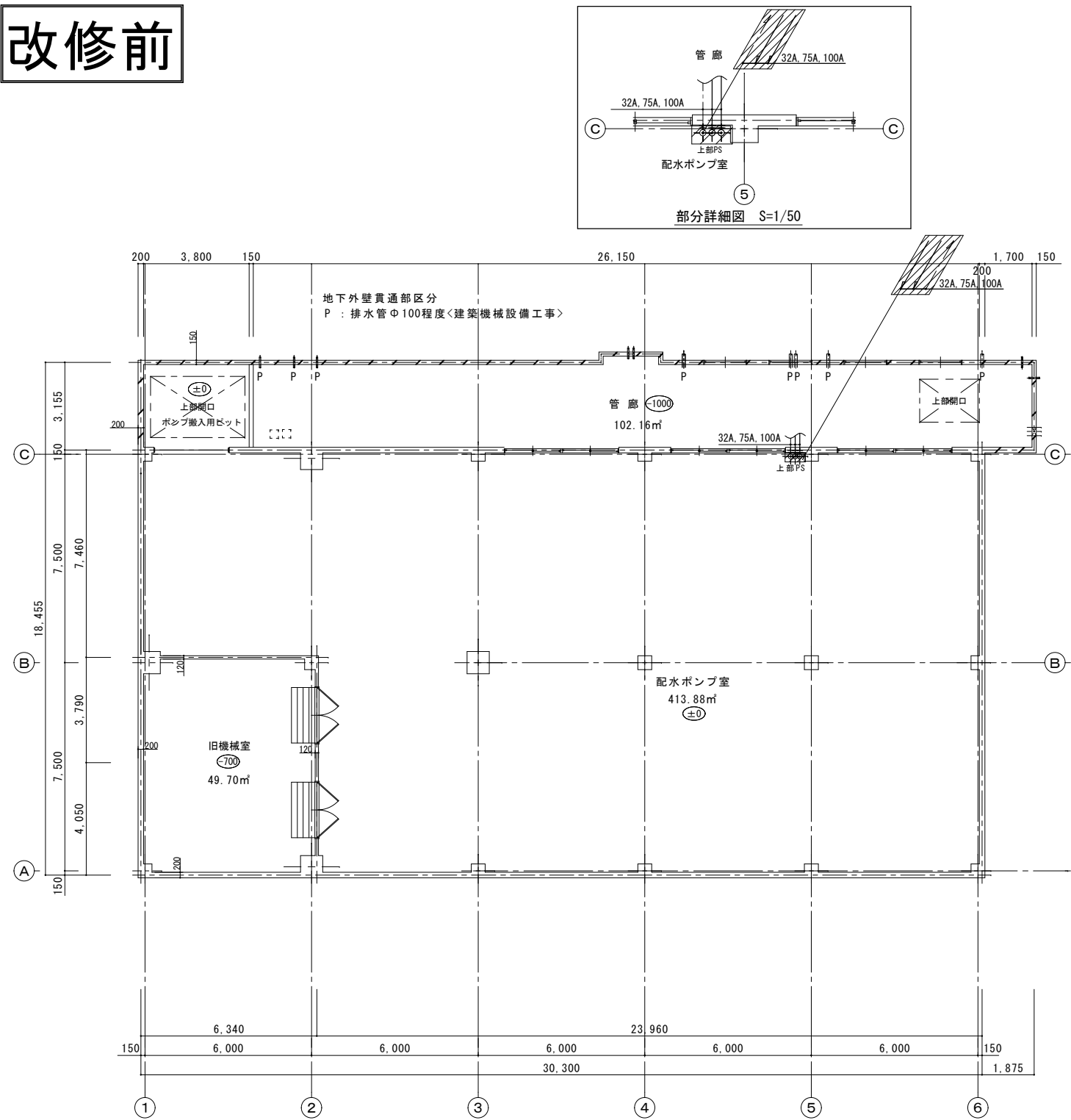
1. 機器能力は表示能力以上とする。
2. 実線部分を新設、破線部分を既存とする。
3. 本図中はロックウール50t巻きとする。
4. 本図中は機械はつり補修部とする。



2 階水廻り 平面図(改修後) S=1/30

令和8年度	当初・変更区分	当初	図面サイズ	A1・A3
工 事 名	西部浄水場浸水災害対策工事			
工事箇所	春日部市一ノ割1731番地1 西部浄水場			
図 面 名	換気設備 2階平面詳細図(改修前・後)			
縮 尺	1/30(A1) 1/60(A3)	図面番号	09	M
春日部市上下水道部 工務課				

改修前

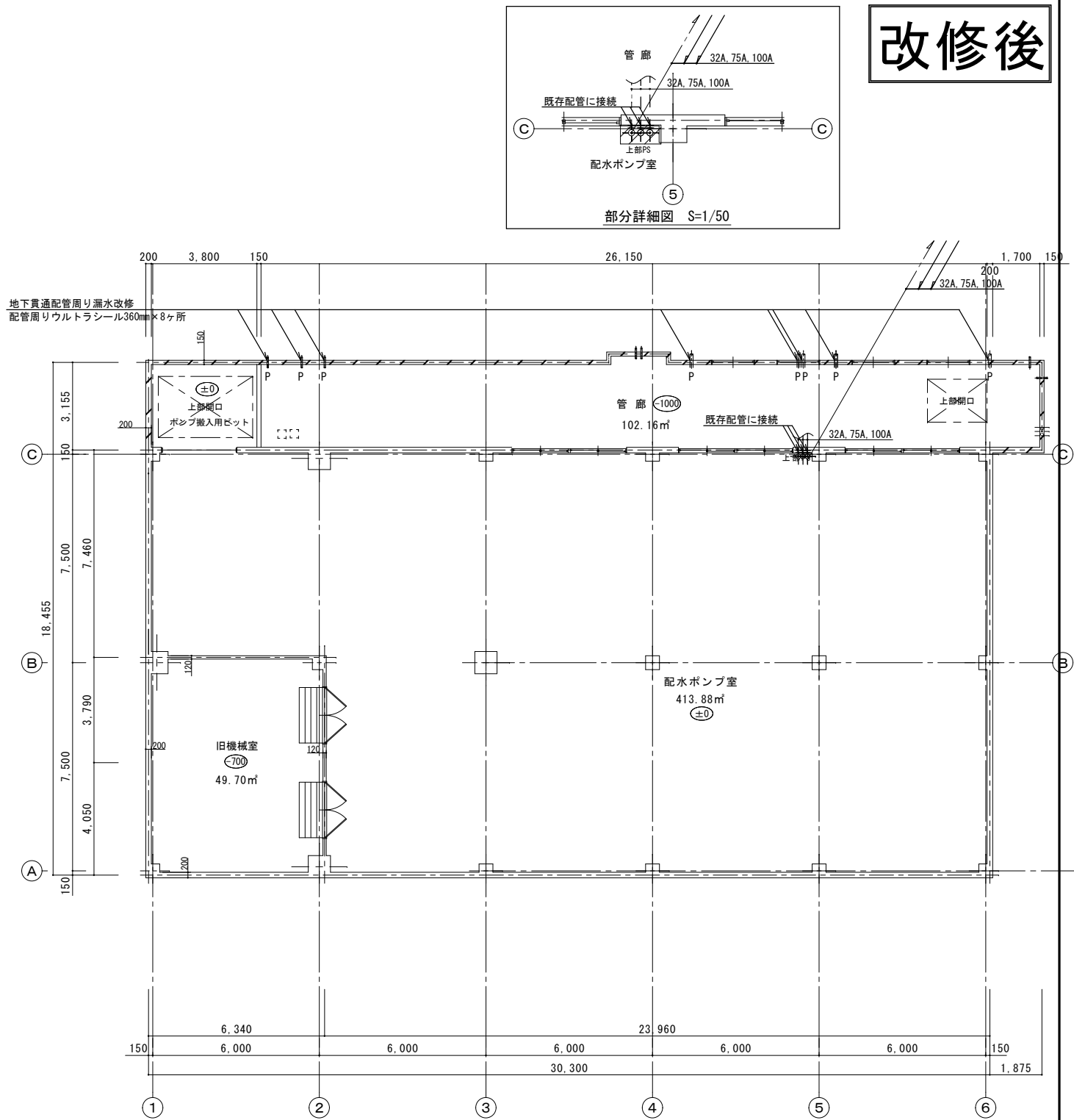


地下1階平面図 S=1/100
463.59 m²
* 当該FLからの高さを示す

- 注記
- 本図中 $\square$ は撤去範囲を示す。
 - 配管保温材にアスベストの含有がみこまれる為、適切に処理する事。

凡 例			
記 号	名 称	使用材料	JIS規格等
---	給 水 管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VA) (屋内一般)	JWWA K 116
---	排 水 管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) (屋内一般)	JIS K 6741
- - -	通 気 管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) (屋内一般)	JIS K 6741
⊗ ⊗	単水栓 混合水栓		
⊗ ⊕	排水金具	床上排水金具 床上掃除口	

改修後



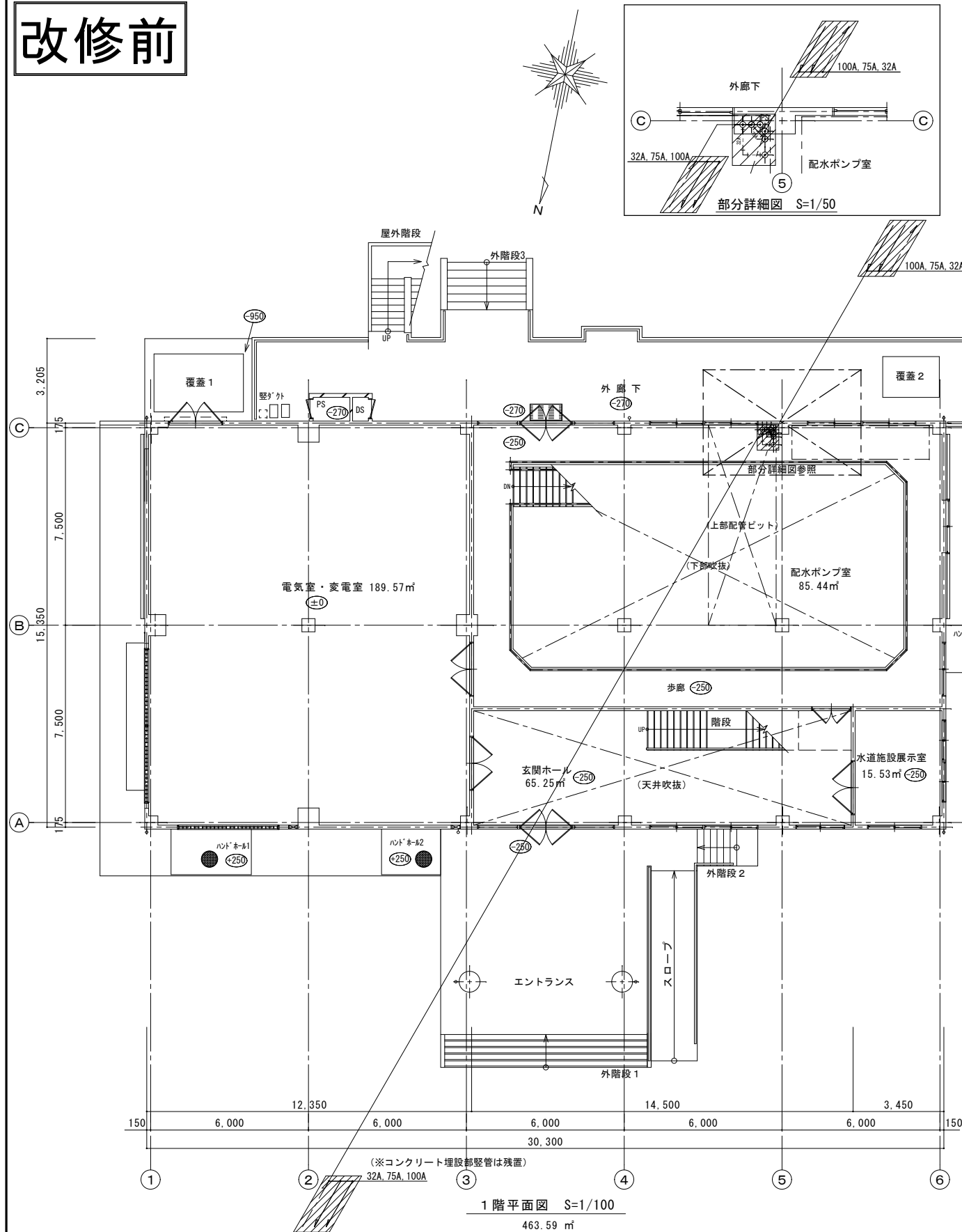
地下1階平面図 S=1/100
463.59 m²
* 当該FLからの高さを示す

- 注記
- 実線部分を新設、破線部分を既存とする。

凡 例			
記 号	名 称	使用材料	JIS規格等
---	給 水 管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VA) (屋内一般)	JWWA K 116 JIS K 6742
---	排 水 管	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (耐火VP) (屋内一般) 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) (土中埋設)	JIS K 6741
- - -	通 気 管	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (耐火VP) (屋内一般)	
⊗ ⊗	単水栓 混合水栓		
⊗ ⊕	排水金具	床上排水金具 床上掃除口	

令和8年度	当初・変更区分	当初	図面サイズ	A1・A3
工 事 名	西部浄水場浸水災害対策工事			
工事箇所	春日部市一ノ割1731番地1 西部浄水場			
図 面 名	衛生設備 地下1階平面図 (改修前・後)			
縮 尺	1/100 (A1) 1/200 (A3)	図面番号	10	M
春日部市上下水道部 工務課				

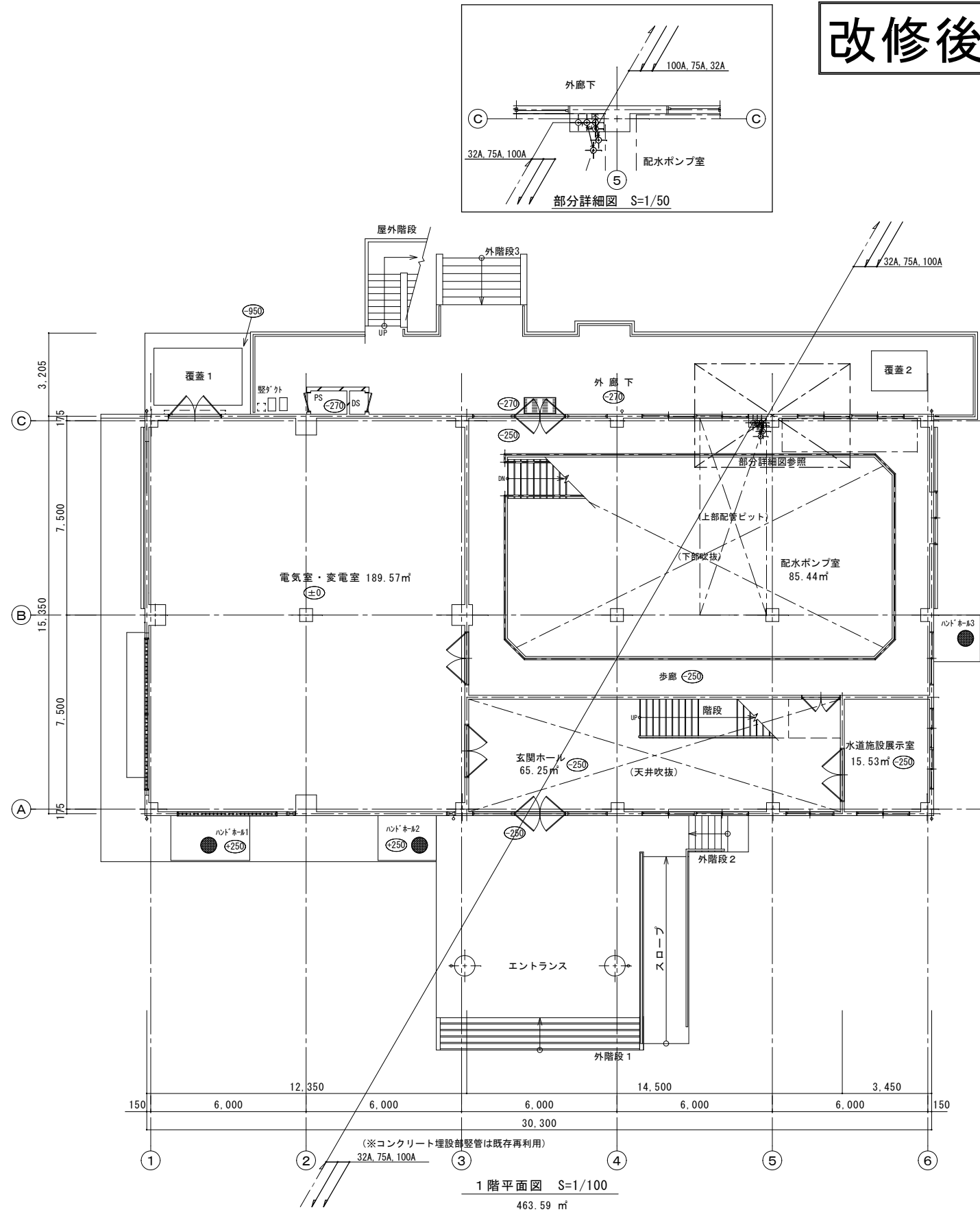
改修前



注記
1. 本図中 は撤去範囲を示す。

凡 例			
記 号	名 称	使用材料	JIS規格等
----	給 水 管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VA) (屋内一般)	JWWA K 116
-----	排 水 管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) (屋内一般)	JIS K 6741
- - -	通 気 管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) (屋内一般)	JIS K 6741
	単水栓 混合水栓		
	排水金具	床上排水金具 床上掃除口	

改修後

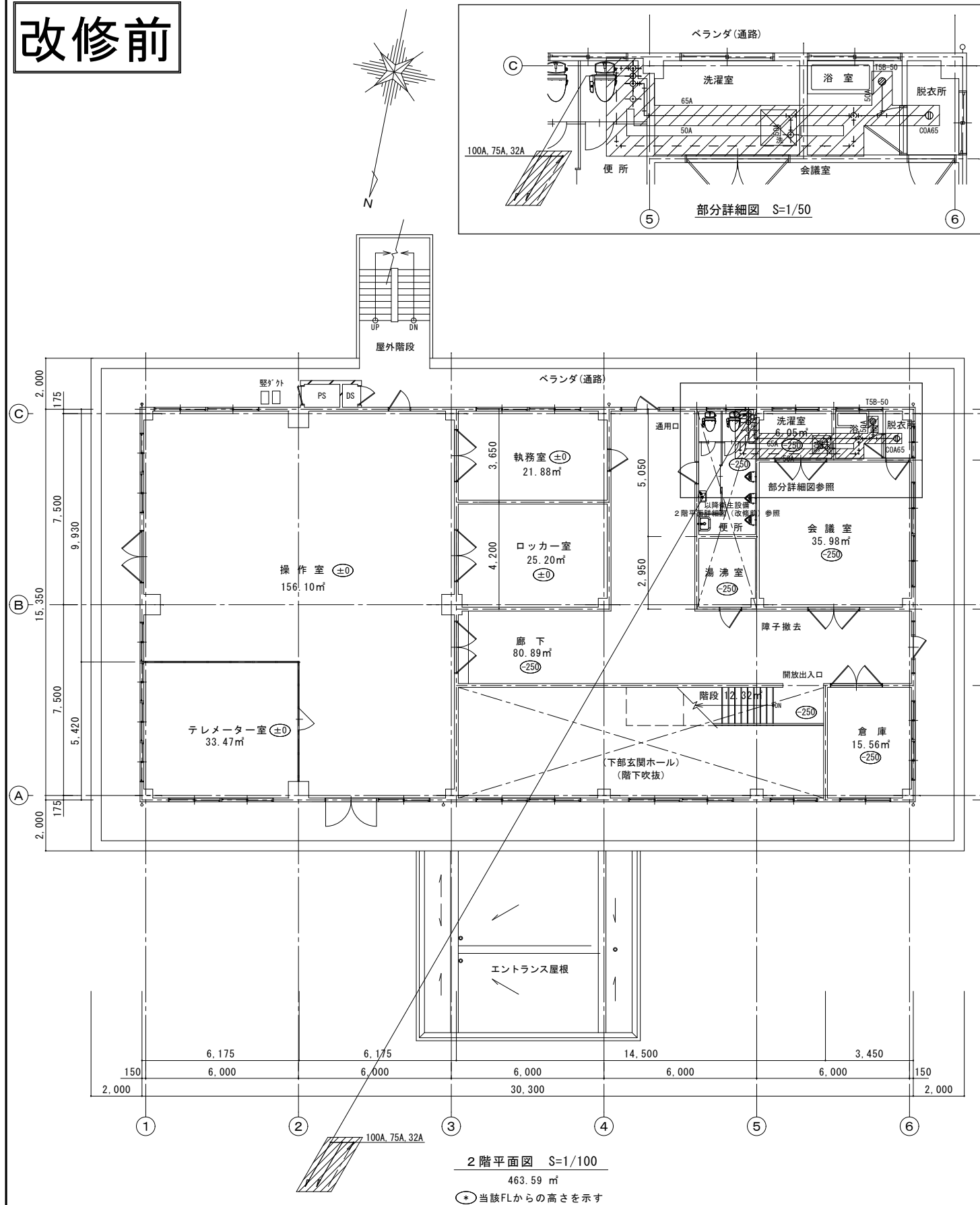


注記
1. 実線部分を新設、破線部分を既存とする。

凡 例			
記 号	名 称	使用材料	JIS規格等
----	給 水 管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VA) (屋内一般)	JWWA K 116
-----	排 水 管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) (屋内一般)	JIS K 6741
- - -	通 気 管	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (耐火VP) (屋内一般)	JIS K 6741
	単水栓 混合水栓		
	排水金具	床上排水金具 床上掃除口	

令和8年度	当初・変更区分	当初	図面サイズ	A1・A3
工 事 名	西部浄水場浸水災害対策工事			
工事箇所	春日部市一ノ割 1 7 3 1 番地 1 西部浄水場			
図 面 名	衛生設備 1階平面図 (改修前・後)			
縮 尺	1/100 (A1) 1/200 (A3)	図面番号	11	M
春日部市上下水道部 工務課				

改修前

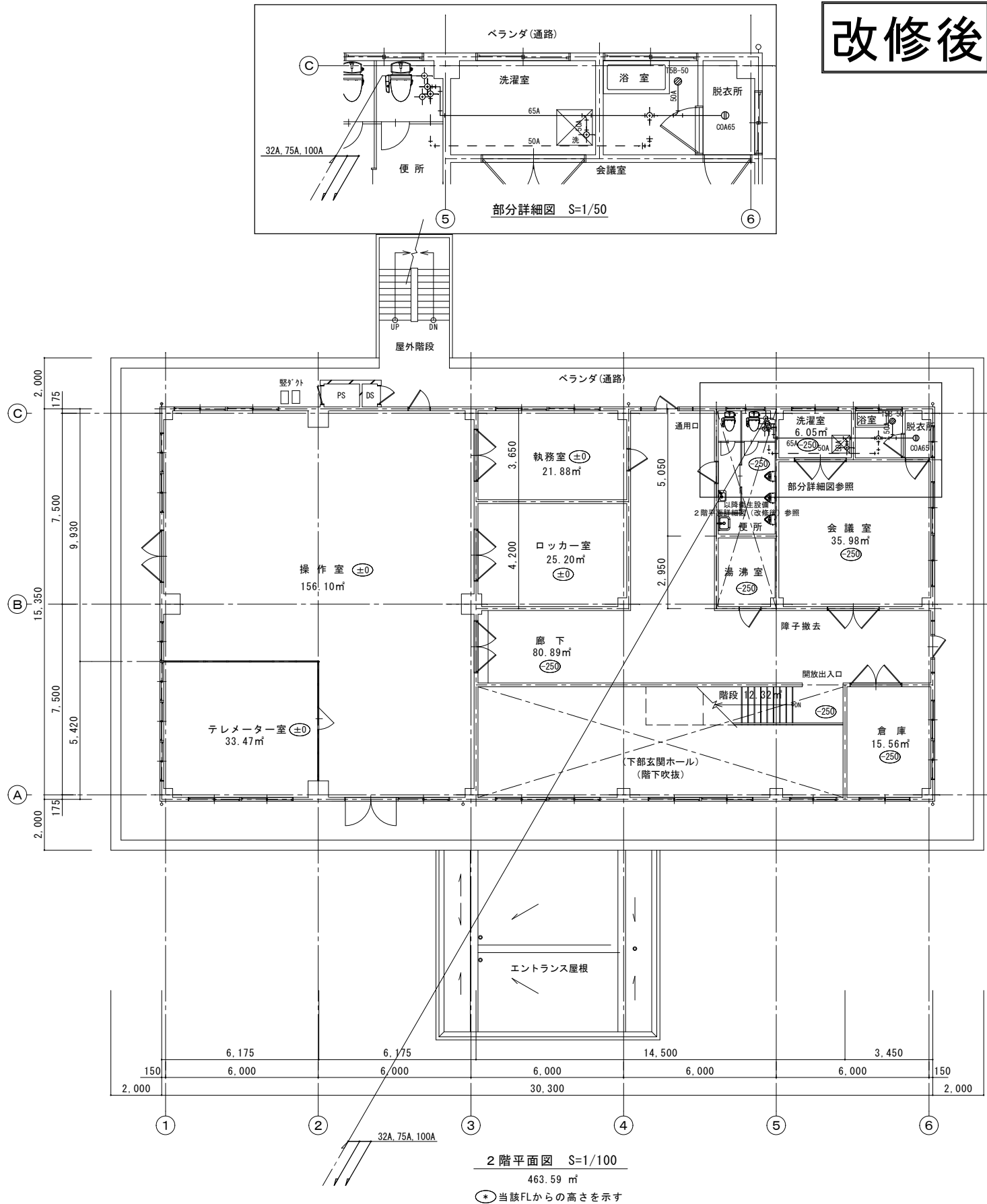


注記
1. 本図中〱〱は撤去範囲を示す。

凡 例

記 号	名 称	使用材料	JIS規格等
---	給 水 管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VA) (屋内一般)	JWWA K 116
---	排 水 管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) (屋内一般)	JIS K 6741
- - -	通 気 管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) (屋内一般)	JIS K 6741
⊗	単水栓 混合水栓		
⊗ ⊕	排水金具	床上排水金具 床上掃除口	

改修後



注記
1. 実線部分を新設、破線部分を既存とする。

凡 例

記 号	名 称	使用材料	JIS規格等
---	給 水 管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VA) (屋内一般)	JWWA K 116
---	排 水 管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) (屋内一般)	JIS K 6741
- - -	通 気 管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) (土中埋設)	JIS K 6741
⊗	単水栓 混合水栓		
⊗ ⊕	排水金具	床上排水金具 床上掃除口	

令和8年度	当初・変更区分	当初	図面サイズ	A1・A3
工 事 名	西部浄水場浸水災害対策工事			
工事箇所	春日部市ノ割1731番地1 西部浄水場			
図 面 名	衛生設備 2階平面図 (改修前・後)			
縮 尺	1/100 (A1) 1/200 (A3)	図面番号	12	M
春日部市上下水道部 工務課				

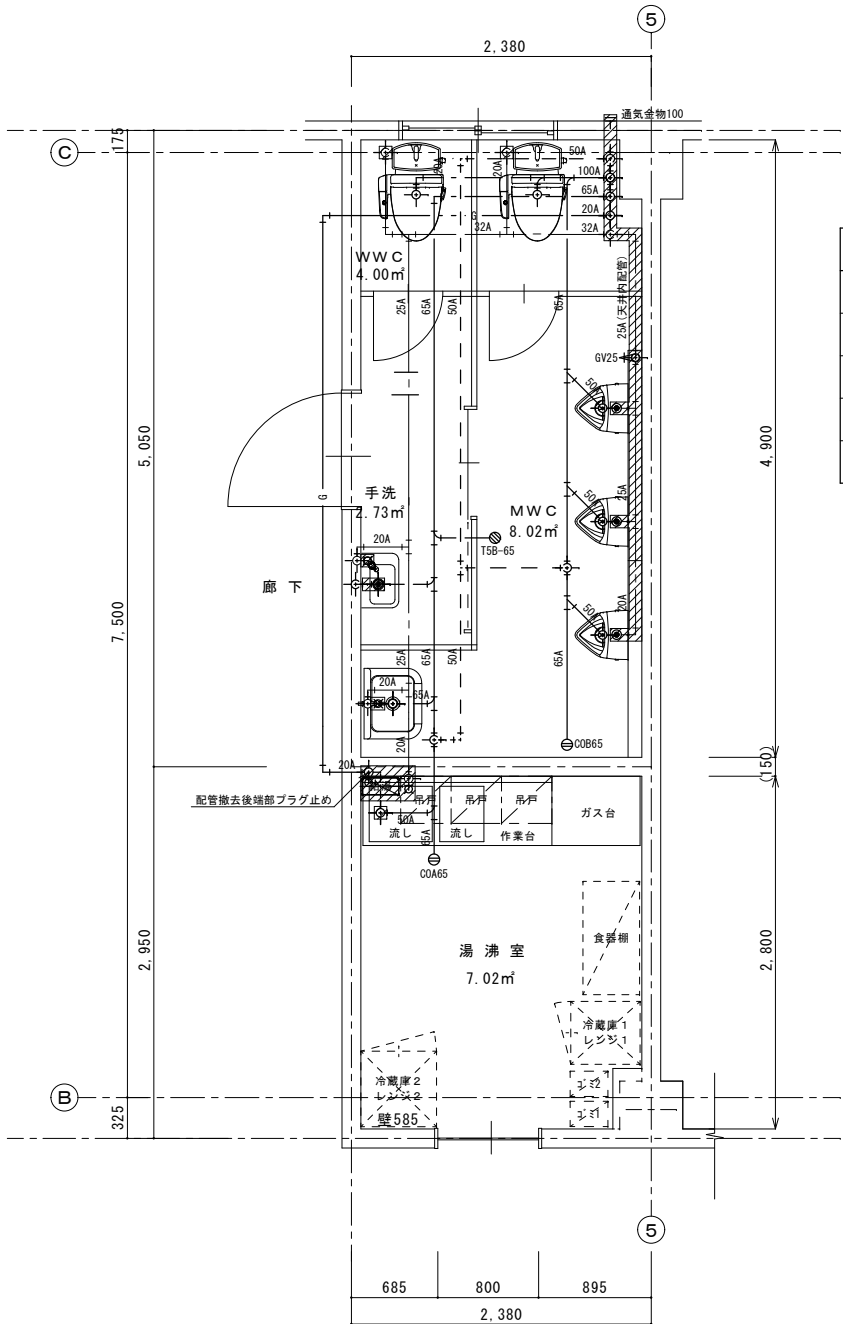
改修前

器具表(改修前)

名 称	仕 様	室 名	2 階				合 計	備 考
			手 洗	W W C	M W C	湯 沸 室		
洋風大便器	ロータンク式（手洗いあり）	洗浄温水便座 紙巻器			1		1	
洋風大便器	ロータンク式（手洗いあり）	洗浄温水便座 紙巻器		1			1	取外し後引渡し
小便器（床置き）	フラッシュバルブ				3		3	
洗面器	自動単水栓（発電式）：既存取外し・再利用		1				1	
掃除用流し	単水栓				1		1	
自在水栓（横水栓）						1	1	
ガス瞬間湯沸器	元止め式5号ガス給湯器					1	1	取外し後引渡し

注記

1. 本図中 $\square$ は撤去範囲を示す。



2 階水廻り 平面図(改修前) S=1/30

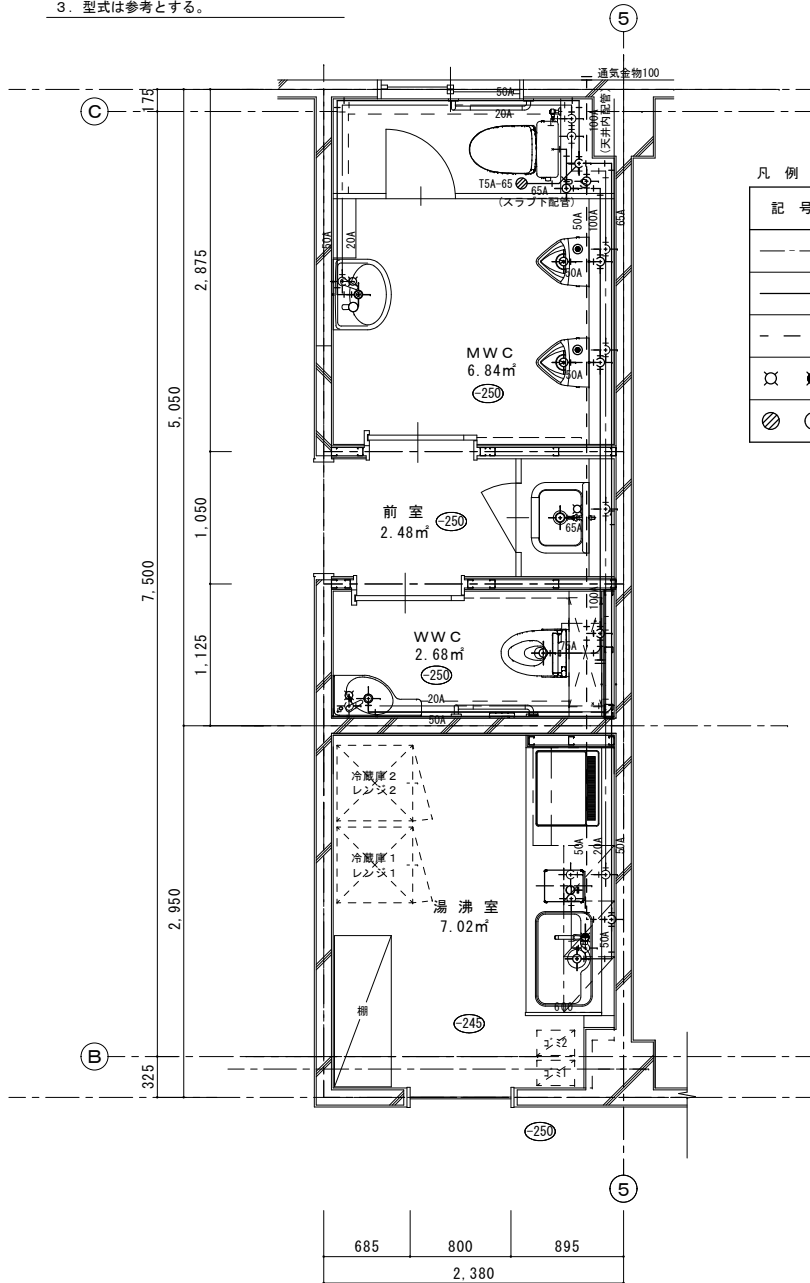
改修後

器具表(改修後)

名 称	仕 様	室 名	2 階				合 計	備 考
			前 室	M W C	W W C	湯 沸 室		
洋風大便器	フラッシュタンク式（手洗い無し）(CFS498B) 洗浄温水便座（擬音装置付）(TCF5534AU) 紙巻器 (YH51R)			1			1	器具トラップ付とする 1φ100V311W
洋風大便器	フラッシュタンク式（壁掛）(UAXC3C1A) 洗浄温水便座（擬音装置付）(TCF5534AU) 紙巻器 (YH51R)				1		1	器具トラップ付とする 1φ100V311W
小便器（壁掛式）	(UFS900R) フラッシュバルブ一体型			2			2	器具トラップ付とする 1φ100V0.5W
洗面器	(L250C) 自動単水栓（発電式）：既存再取付け 排水金具 (TLDP2201JA)			1			1	器具トラップ付とする
洗面器	(MLRB32AAR) 自動単水栓（発電式）(TLE28SS1W) 排水金具 (T7W41)				1		1	器具トラップ付とする
掃除用流し	(SK322) 単水栓 (T23AEQ20C) 排水金具 (T37PGEP) リムカバー (TK22)		1				1	器具トラップ付とする
混合水栓（立水栓）	(TKS05301J)					1	1	
電気貯湯式湯沸器	貯湯量12L (REKB12A12) 耐震用足 (RHE708) 止水栓 (TL345C) 開放式ホッパー (RHE22H-50N)					1	1	1φ100V1100W

注記

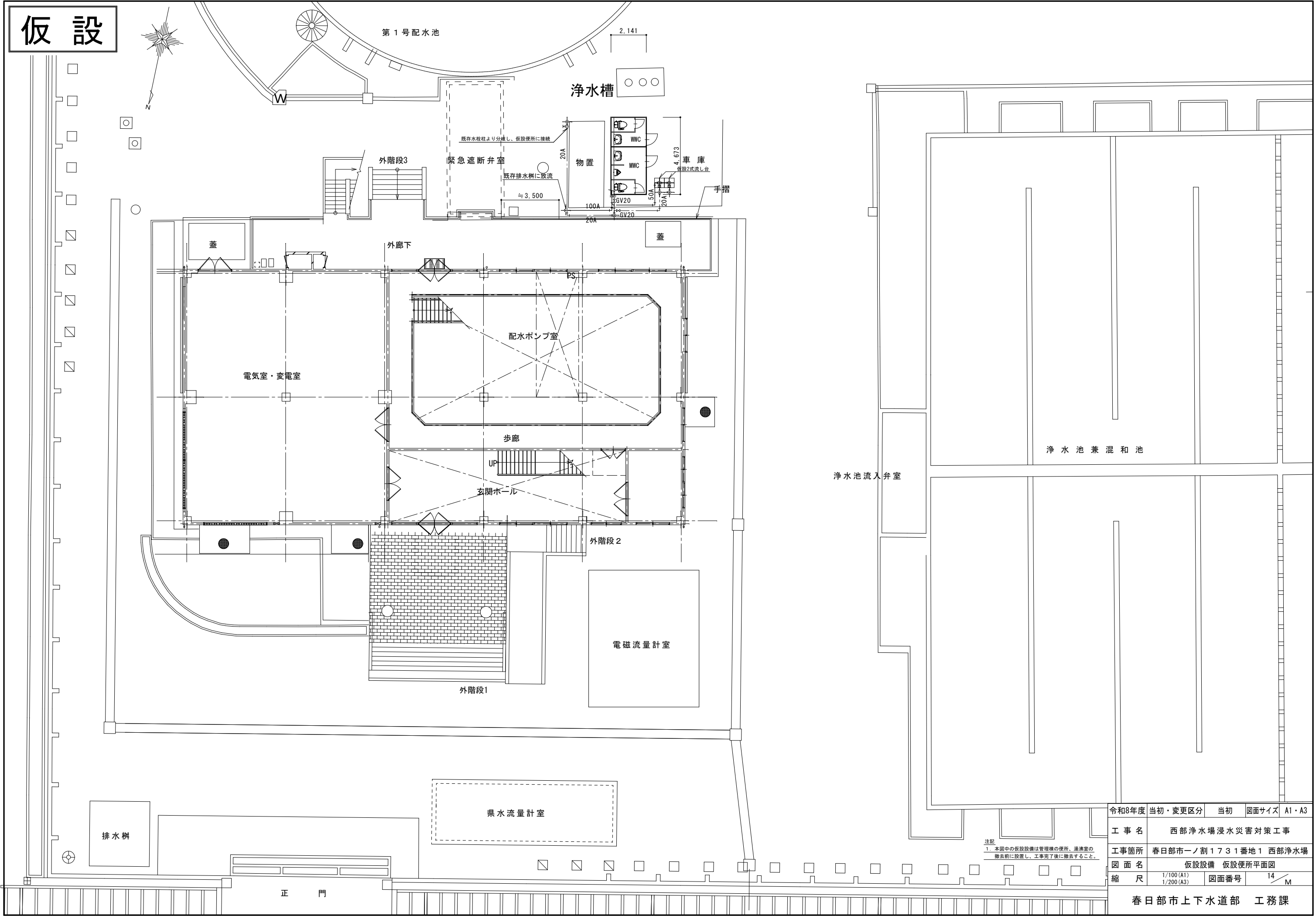
1. 実線部分を新設、破線部分を既存とする。
2. 特記無き配管は床上配管とする。
3. 型式は参考とする。



2 階水廻り 平面図(改修後) S=1/30

令和8年度	当初・変更区分	当初	図面サイズ	A1・A3
工 事 名	西部浄水場浸水災害対策工事			
工事箇所	春日部市一ノ割1731番地1 西部浄水場			
図 面 名	衛生設備 2階平面詳細図（改修前・後）			
縮 尺	1/30 (A1) 1/60 (A3)	図面番号	13	M
春日部市上下水道部 工務課				

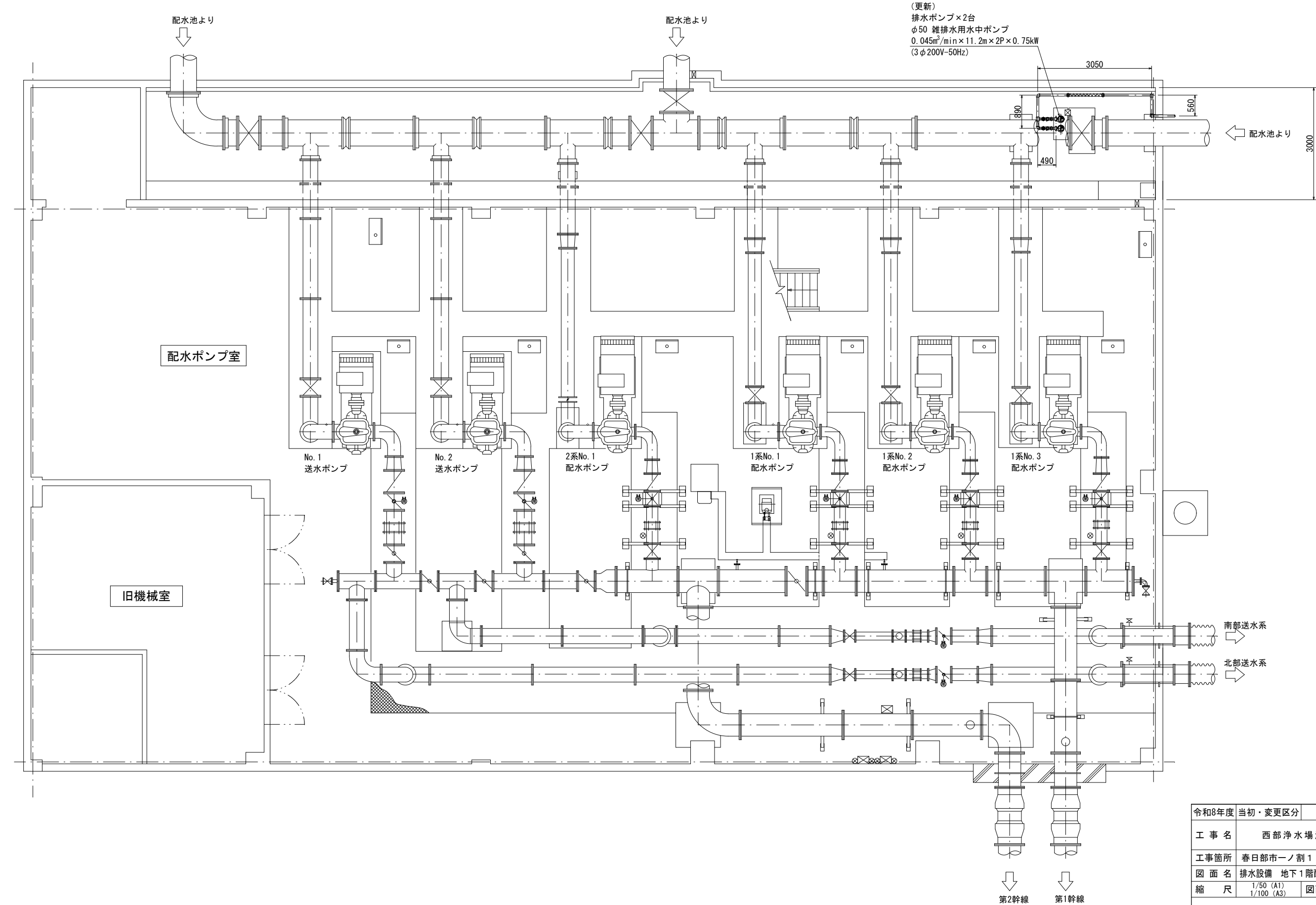
仮 設



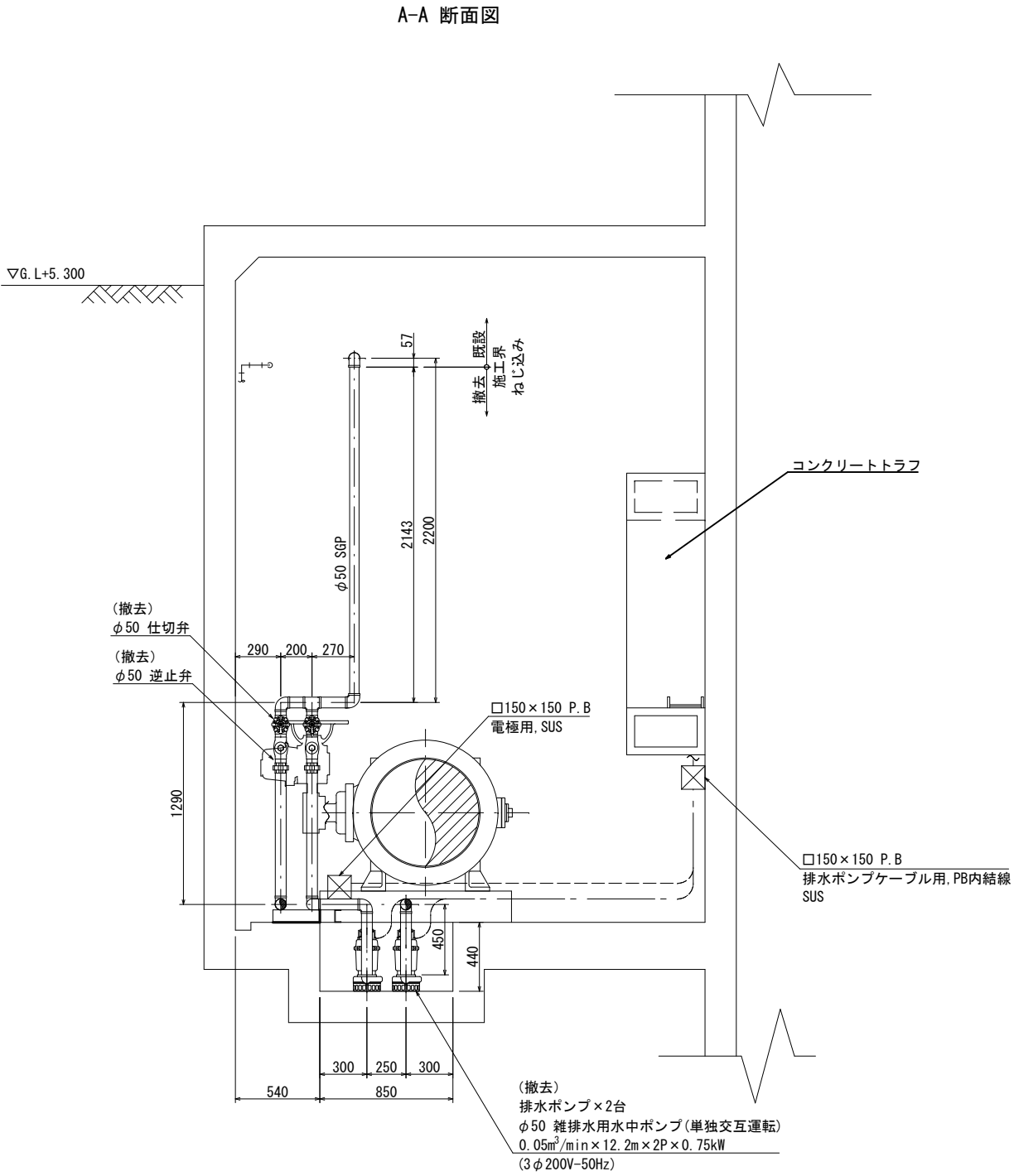
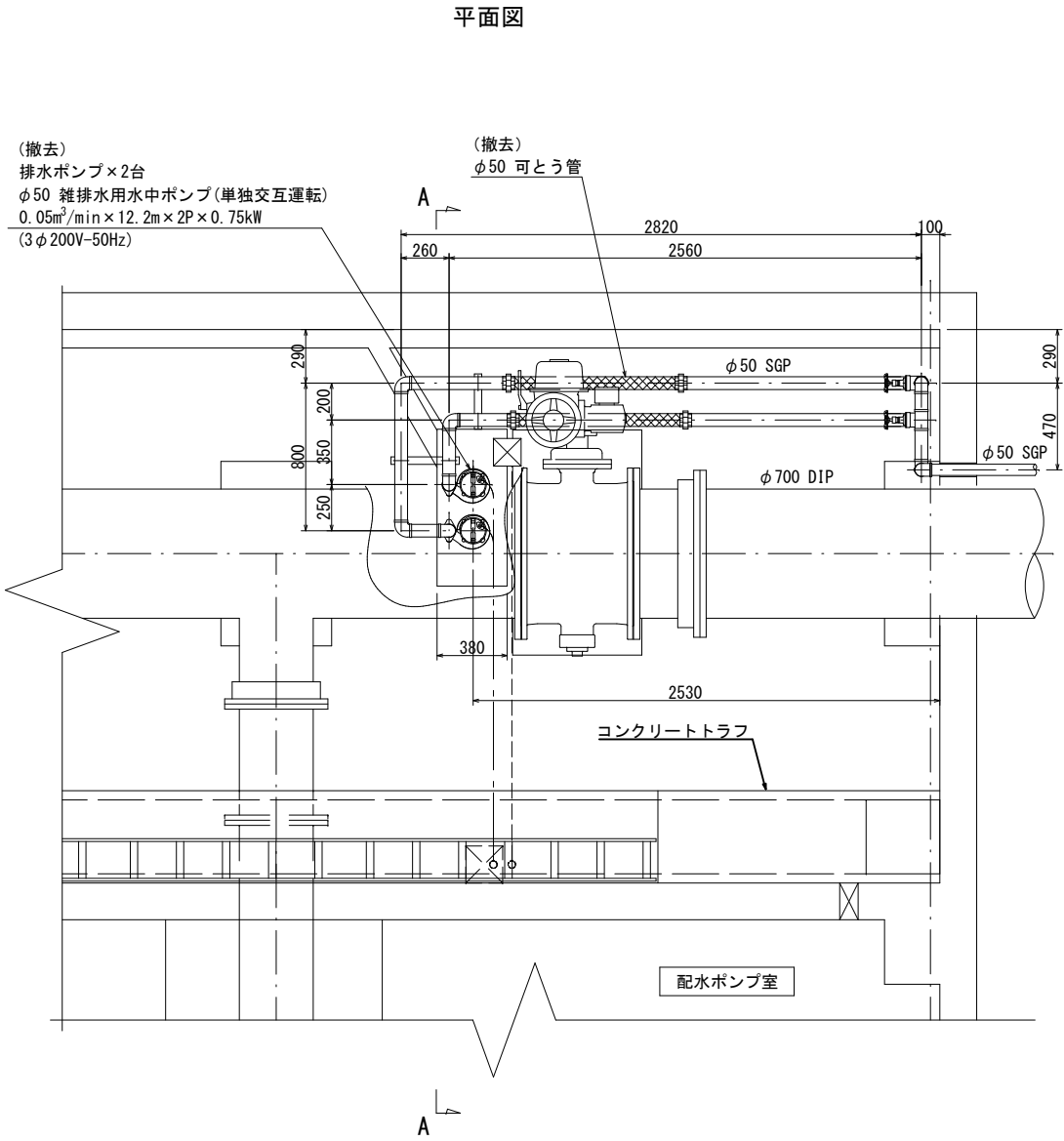
令和8年度	当初・変更区分	当初	図面サイズ	A1・A3
工 事 名	西部浄水場浸水災害対策工事			
工事箇所	春日部市一ノ割1731番地1 西部浄水場			
図 面 名	仮設設備 仮設便所平面図			
縮 尺	1/100 (A1) 1/200 (A3)	図面番号	14	M
春日部市上下水道部 工務課				

地下1階 配水ポンプ室平面図
A1:S=1/50
A3:S=1/100

(更新)
排水ポンプ×2台
φ50 雑排水用水中ポンプ
0.045m³/min×11.2m×2P×0.75kW
(3φ200V-50Hz)



令和8年度	当初・変更区分	当初	図面サイズ	A1・A3
工 事 名	西部浄水場浸水災害対策工事			
工事箇所	春日部市一ノ割1731番地1 西部浄水場			
図 面 名	排水設備 地下1階配水ポンプ室平面図(改修後)			
縮 尺	1/50 (A1) 1/100 (A3)	図面番号	01	PM
春日部市上下水道部 工務課				

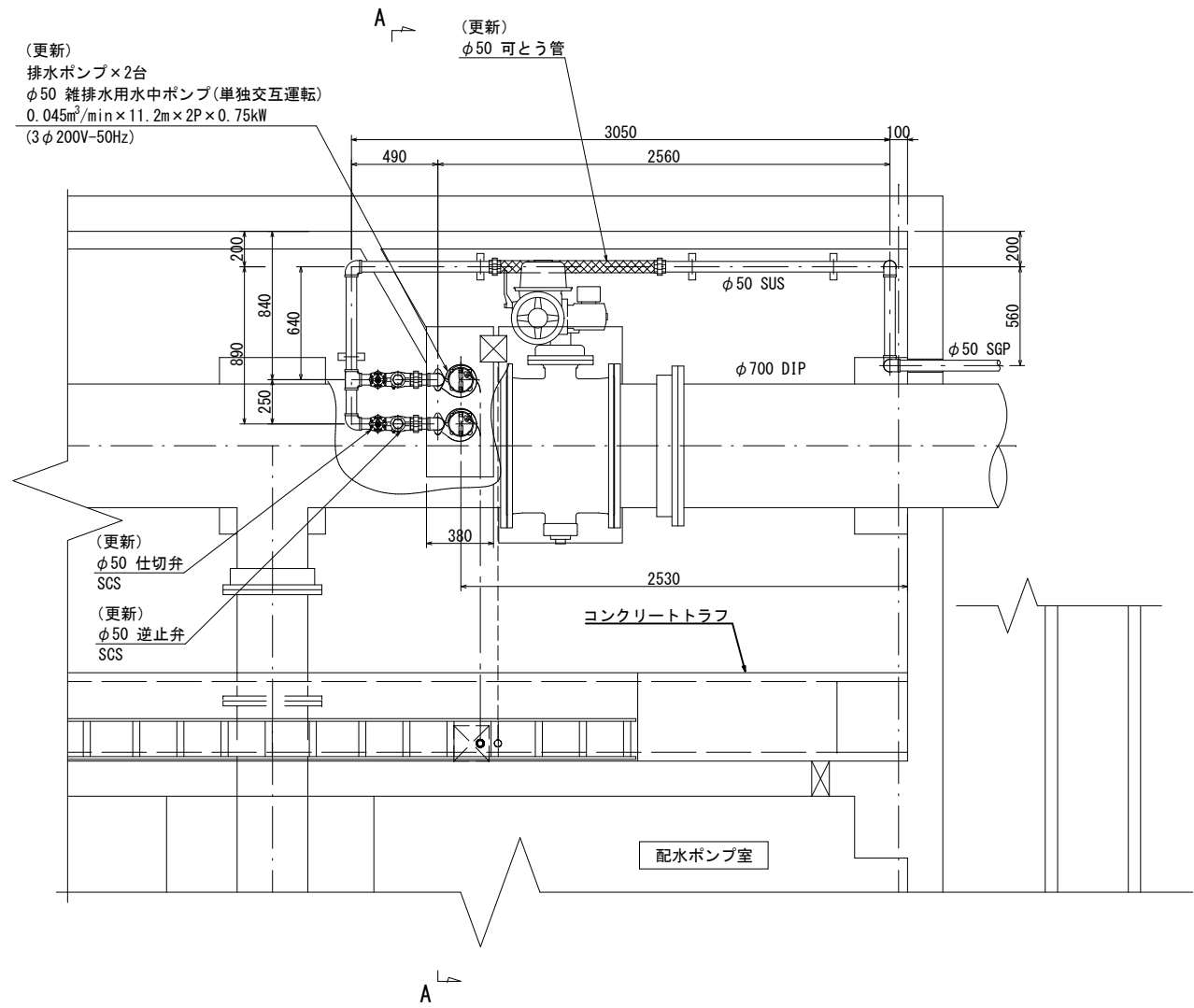


令和8年度	当初・変更区分	当初	図面サイズ	A1・A3
工 事 名	西部浄水場浸水災害対策工事			
工事箇所	春日部市一ノ割1731番地1 西部浄水場			
図 面 名	排水設備 排水ポンプ詳細図 (改修前)			
縮 尺	1/20 (A1) 1/40 (A3)	図面番号	02	PM
春日部市上下水道部 工務課				

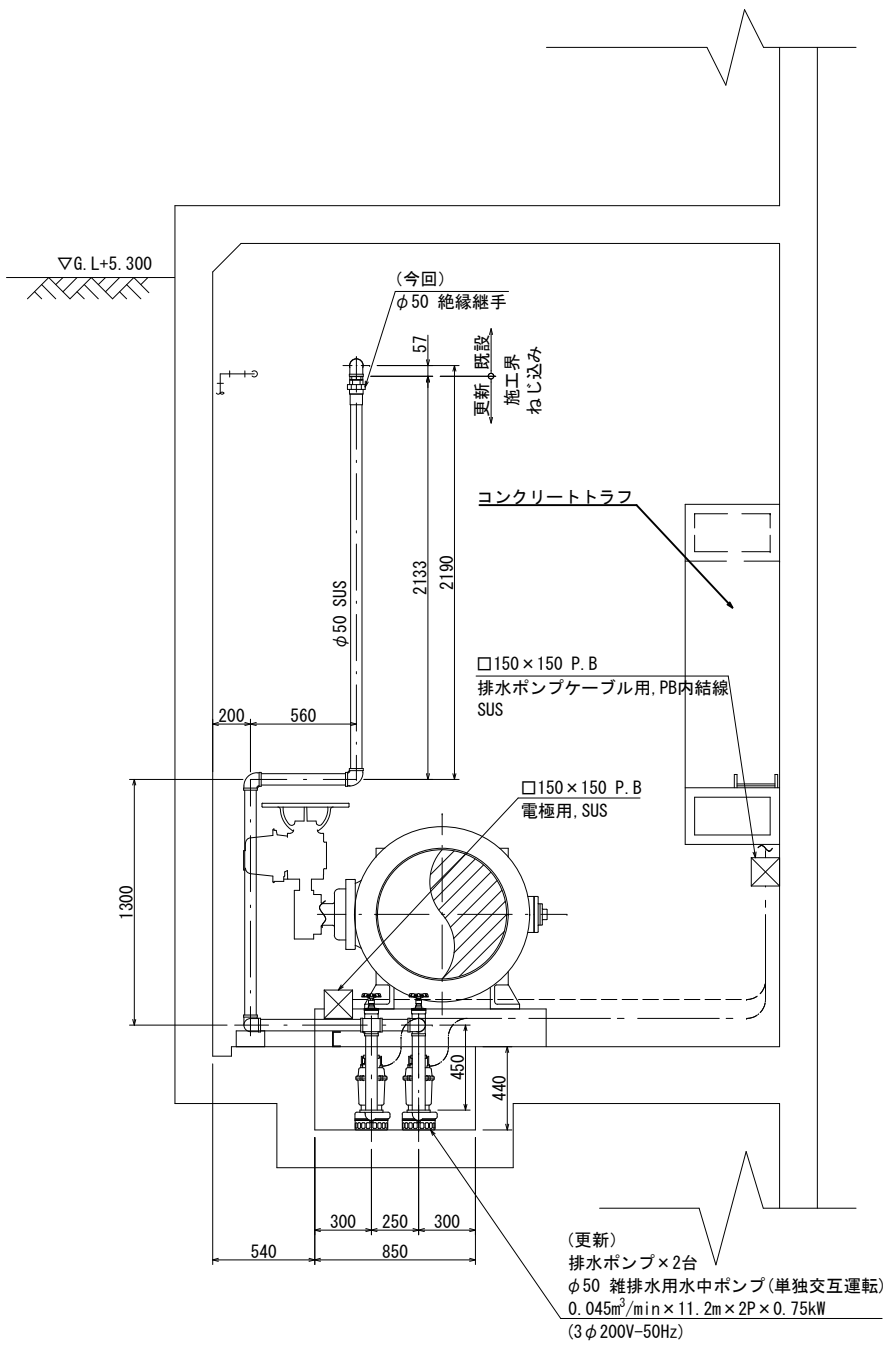
改修後

排水ポンプ詳細図
A1:S=1/20
A3:S=1/40

平面図



A-A 断面図

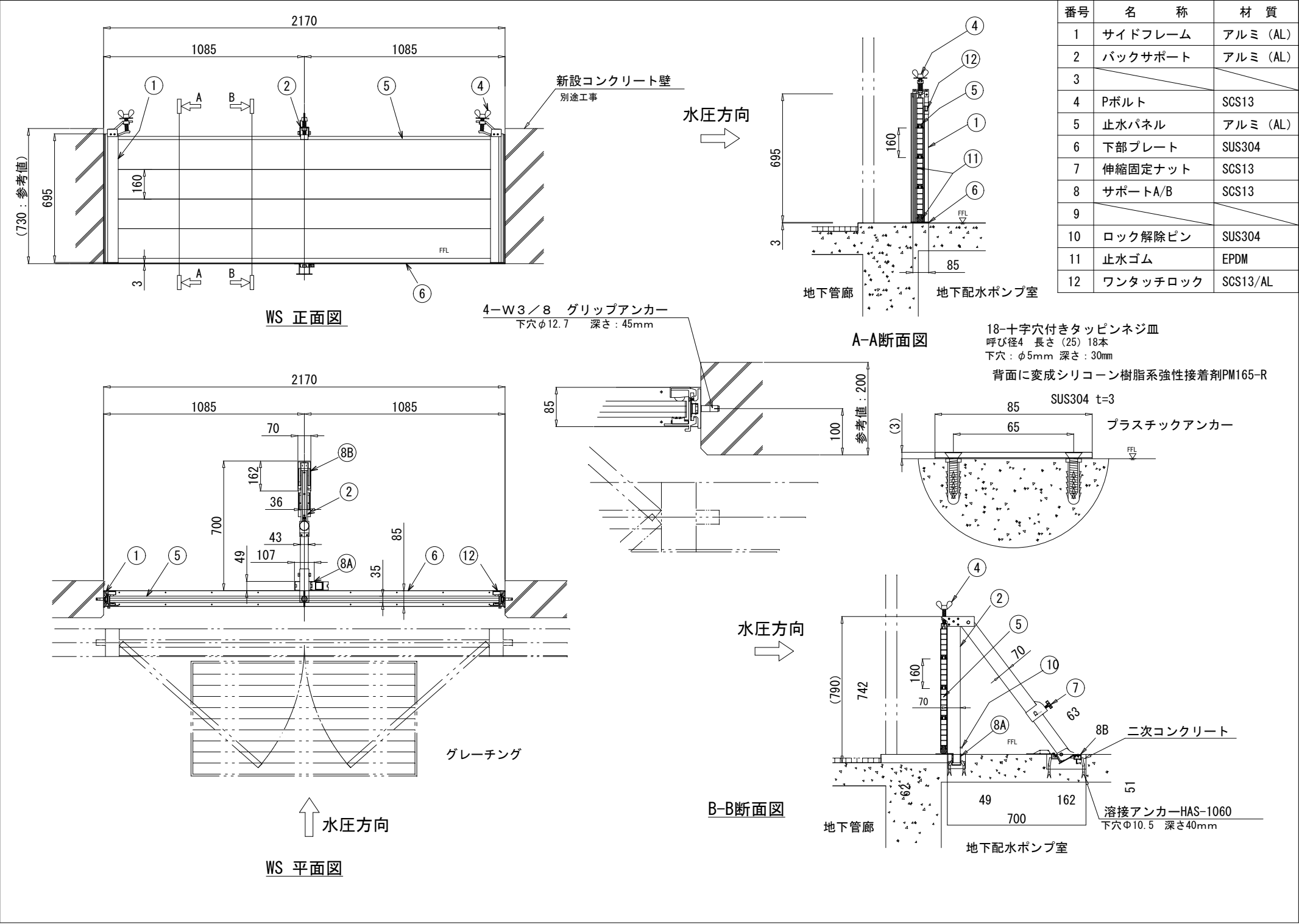


令和8年度	当初・変更区分	当初	図面サイズ	A1・A3
工 事 名	西部浄水場 浸水災害対策工事			
工事箇所	春日部市一ノ割1731番地1 西部浄水場			
図 面 名	排水設備 排水ポンプ詳細図 (改修後)			
縮 尺	1/20 (A1) 1/40 (A3)	図面番号	03	PM
春日部市上下水道部 工務課				

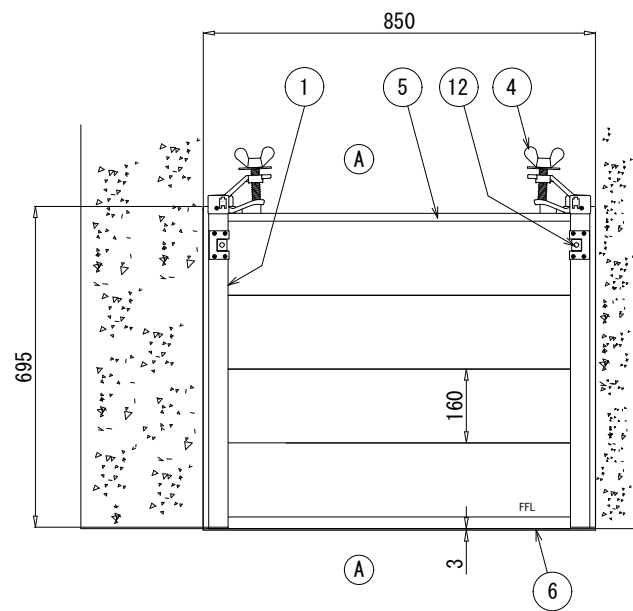
西部浄水場浸水災害対策工事（土木工事）

図 面 目 録

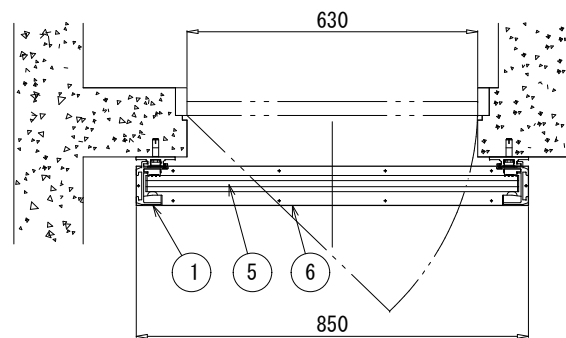
図面番号	図 面 名 称	縮 尺
	図面リスト	
W - 01	止水板参考図 1 （W P - 1 a ）	N O N E
W - 02	止水板参考図 2 （W P - 1 b ）	N O N E
W - 03	止水板参考図 3 （W P - 2 a ）	N O N E
W - 04	止水板参考図 4 （W P - 2 b ）	N O N E
W - 05	止水板参考図 5 （W P - 3 ）	N O N E
W - 06	止水板参考図 6 （W P - 4 ）	N O N E
W - 07	止水板参考図 7 （W P - 5 ）	N O N E
W - 08	水密蓋参考図 1 （No. 1 ）	N O N E
W - 09	水密蓋参考図 2 （No. 2 ）	N O N E



令和8年度	当初・変更区分	当初	図面サイズ	A1・A3
工 事 名	西部浄水場浸水災害対策工事			
工事箇所	春日部市一ノ割1731番地1 西部浄水場			
図 面 名	止水板 2 (WP-1b)			
縮 尺	NONE	図面番号	02	W
春日部市上下水道部 工務課				

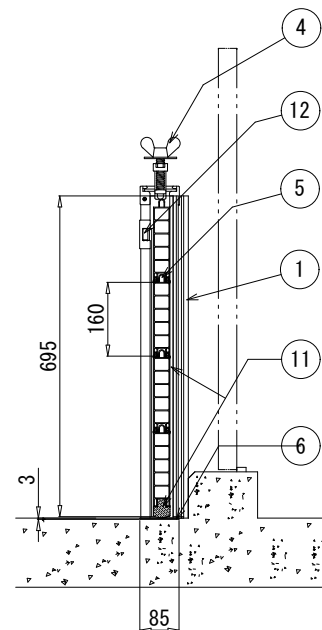


WS 正面図

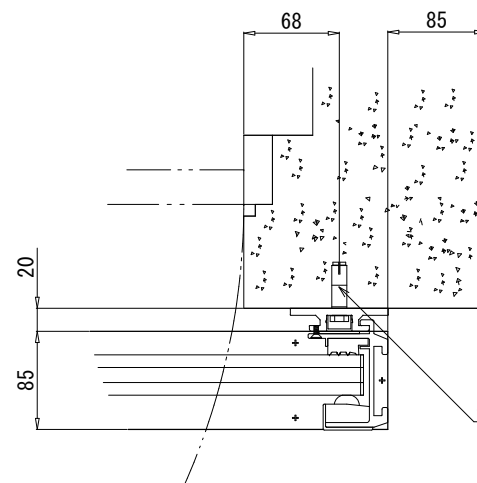


WS 平面図

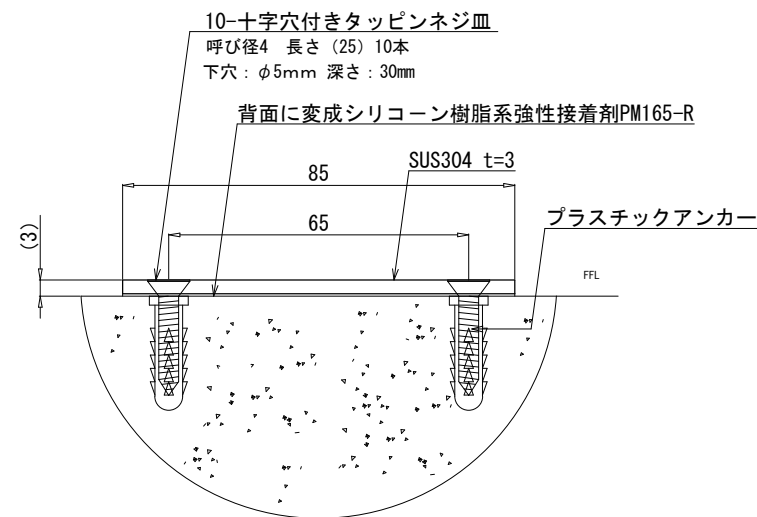
水圧方向
→



A-A断面図



4-W3/8 グリップアンカー
下穴φ12.7 深さ: 45mm



10-十字穴付きタッピンネジ皿

呼び径4 長さ(25) 10本

下穴: φ5mm 深さ: 30mm

背面に変成シリコーン樹脂系強性接着剤PM165-R

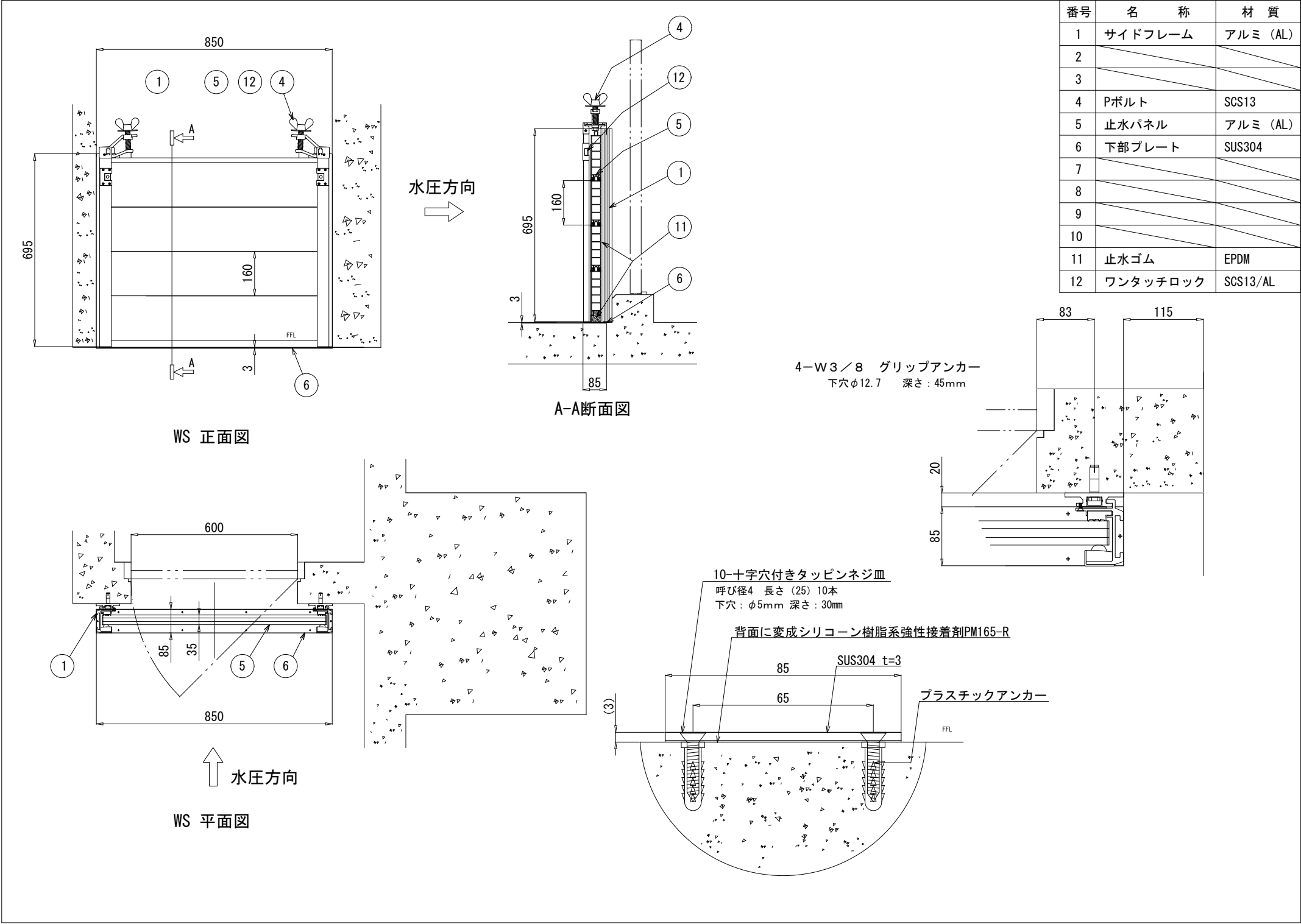
SUS304 t=3

プラスチックアンカー

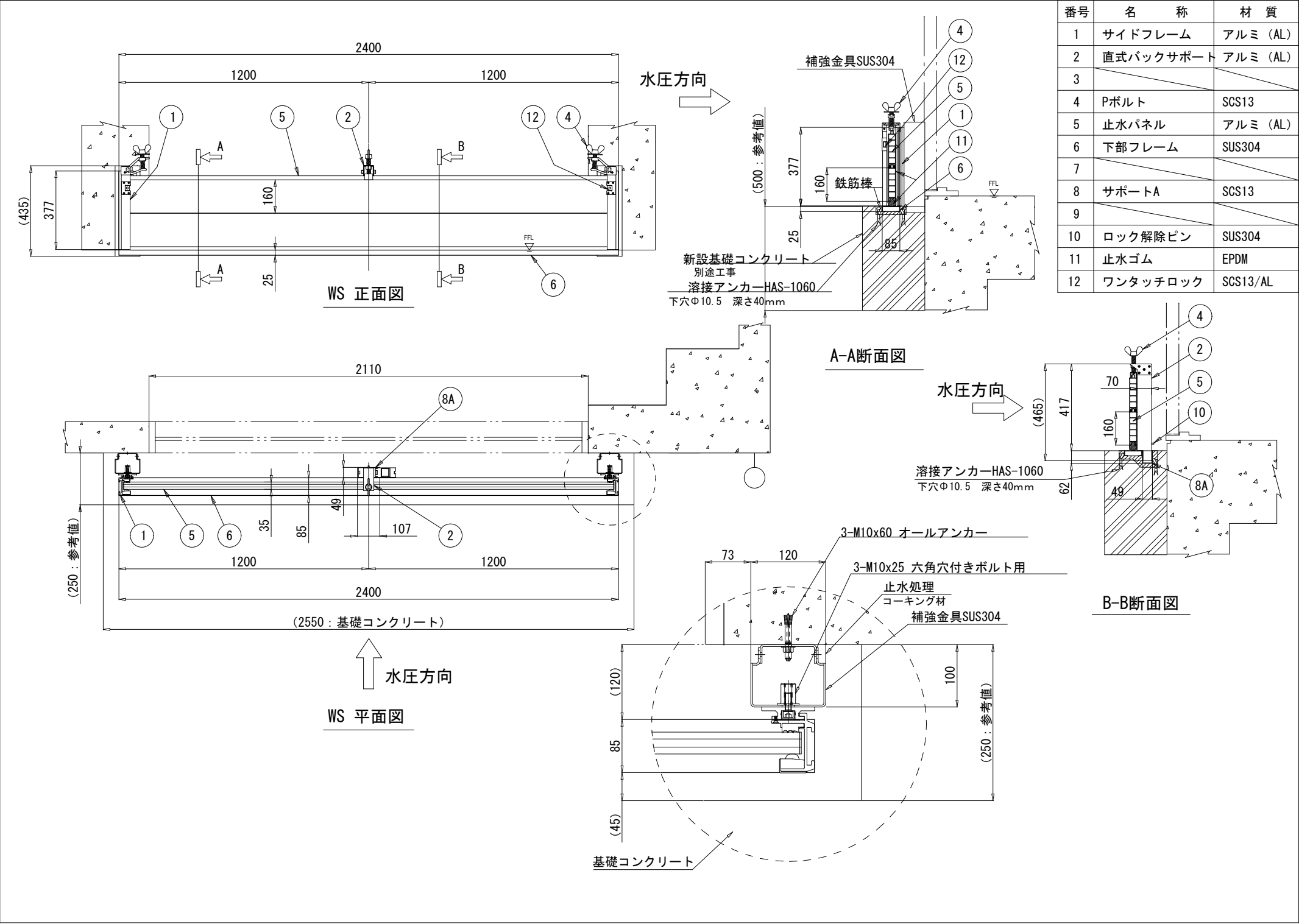
FFL

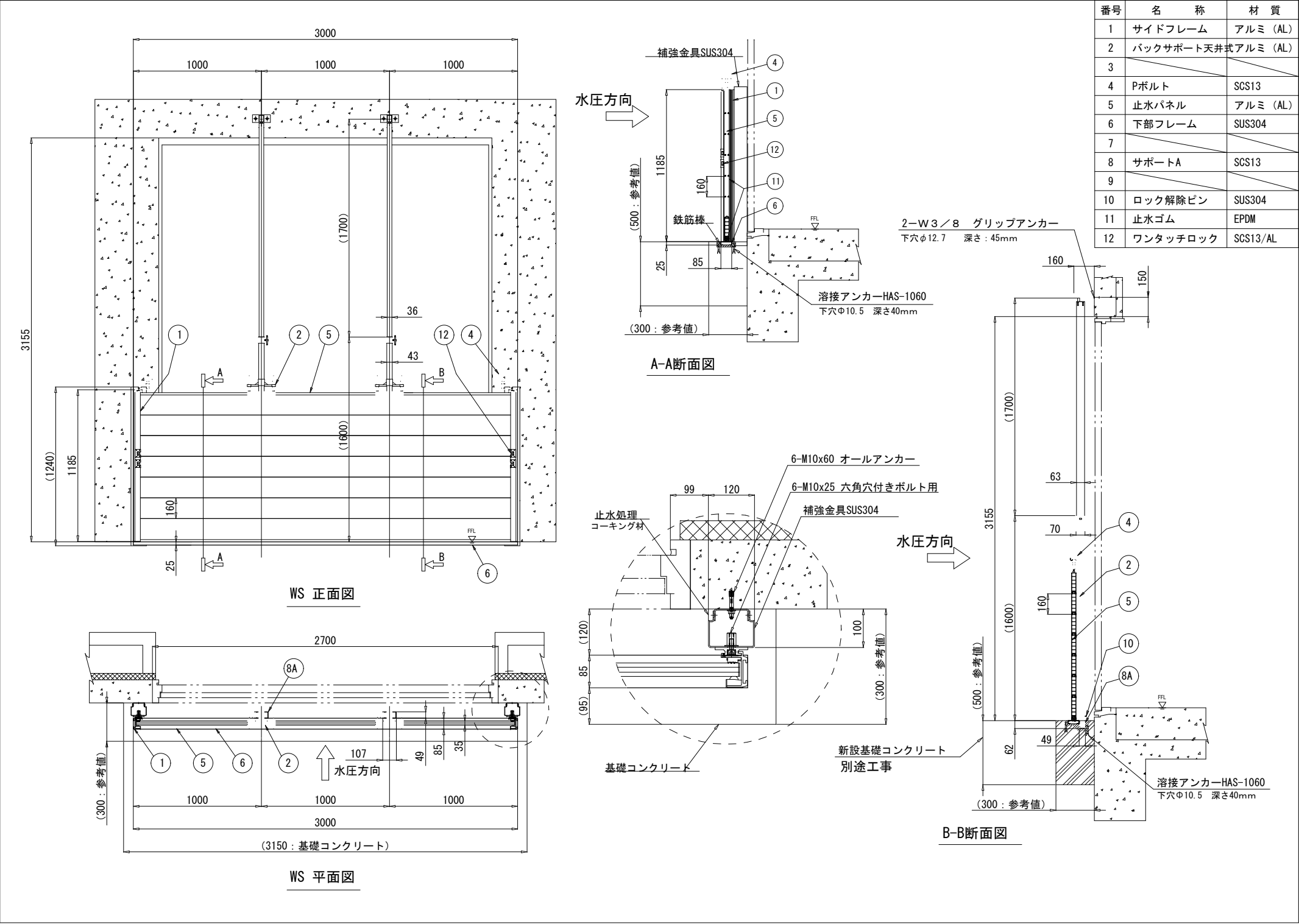
番号	名 称	材 質
1	サイドフレーム	アルミ (AL)
2		
3		
4	Pボルト	SCS13
5	止水パネル	アルミ (AL)
6	下部プレート	SUS304
7		
8		
9		
10		
11	止水ゴム	EPDM
12	ワンタッチロック	SCS13/AL

令和8年度	当初・変更区分	当初	図面サイズ	A1・A3
工 事 名	西部浄水場浸水災害対策工事			
工事箇所	春日部市一ノ割1731番地1 西部浄水場			
図 面 名	止水板 3 (WP-2 a)			
縮 尺	NONE	図面番号	03	W
春日部市上下水道部 工務課				

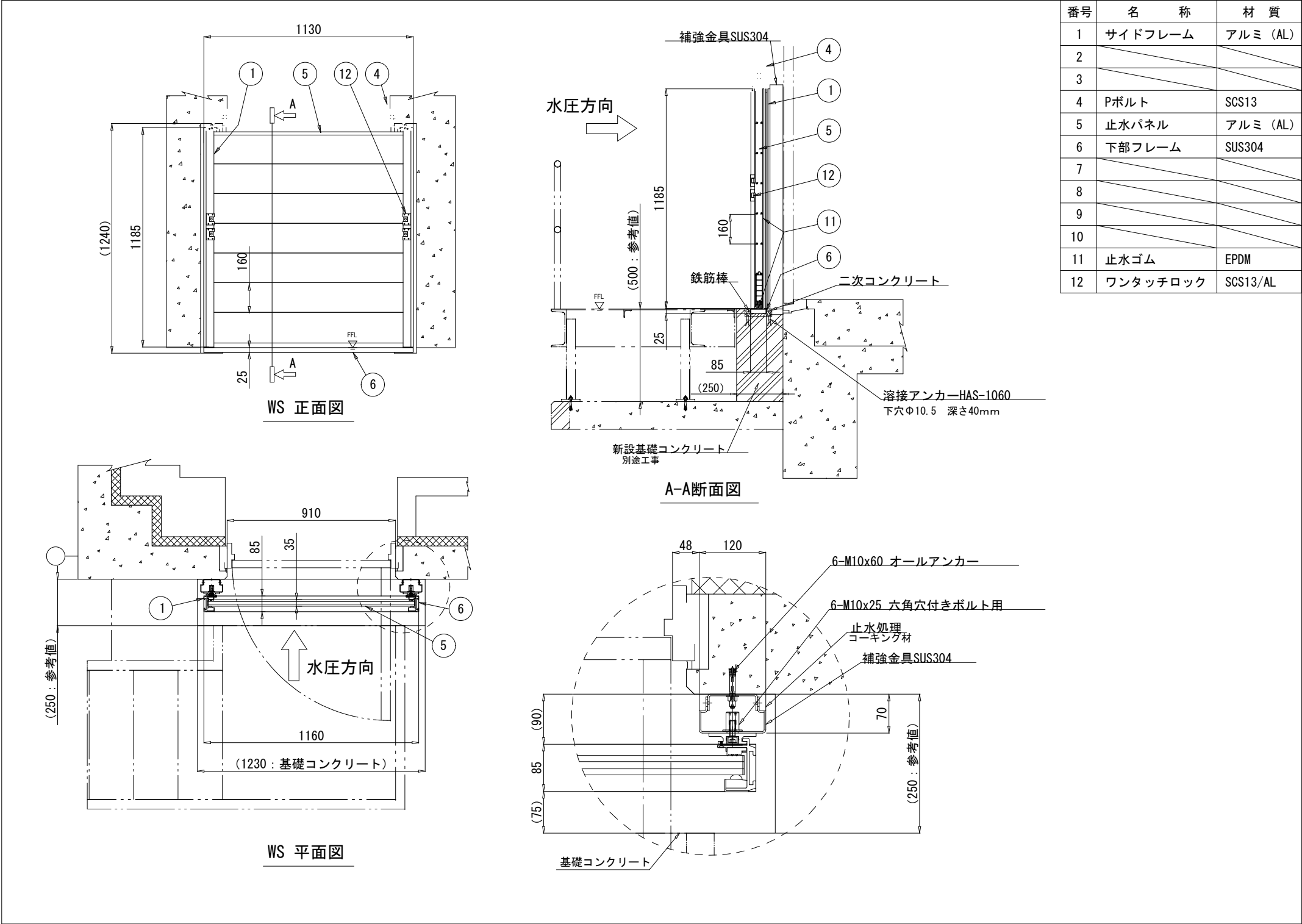


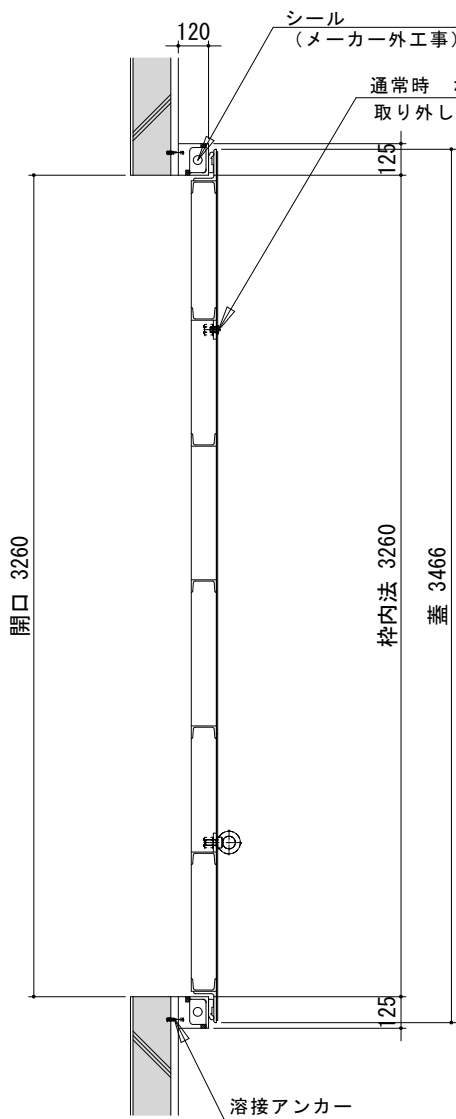
令和8年度	当初・変更区分	当初	図面サイズ	A1・A3
工事名	西部浄水場浸水災害対策工事			
工事箇所	春日部市一ノ割1731番地1 西部浄水場			
図面名	止水板 4 (WP-2 b)			
縮尺	NONE	図面番号	04	W
春日部市上下水道部 工務課				



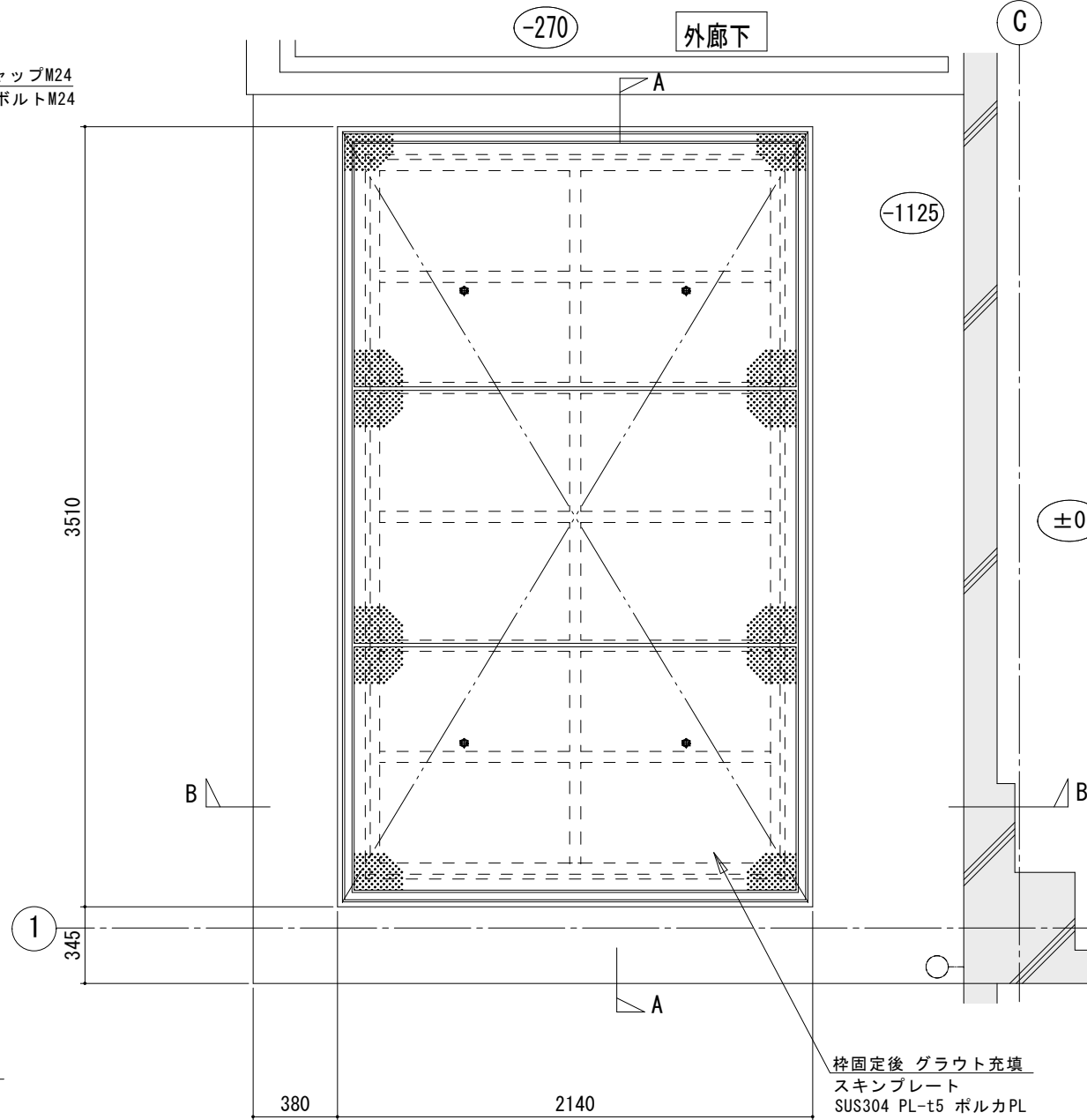


令和8年度	当初・変更区分	当初	図面サイズ	A1・A3
工事名	西部浄水場浸水災害対策工事			
工事箇所	春日部市一ノ割1731番地1 西部浄水場			
図面名	止水板 6 (WP-4)			
縮尺	NONE	図面番号	06	W
春日部市上下水道部 工務課				

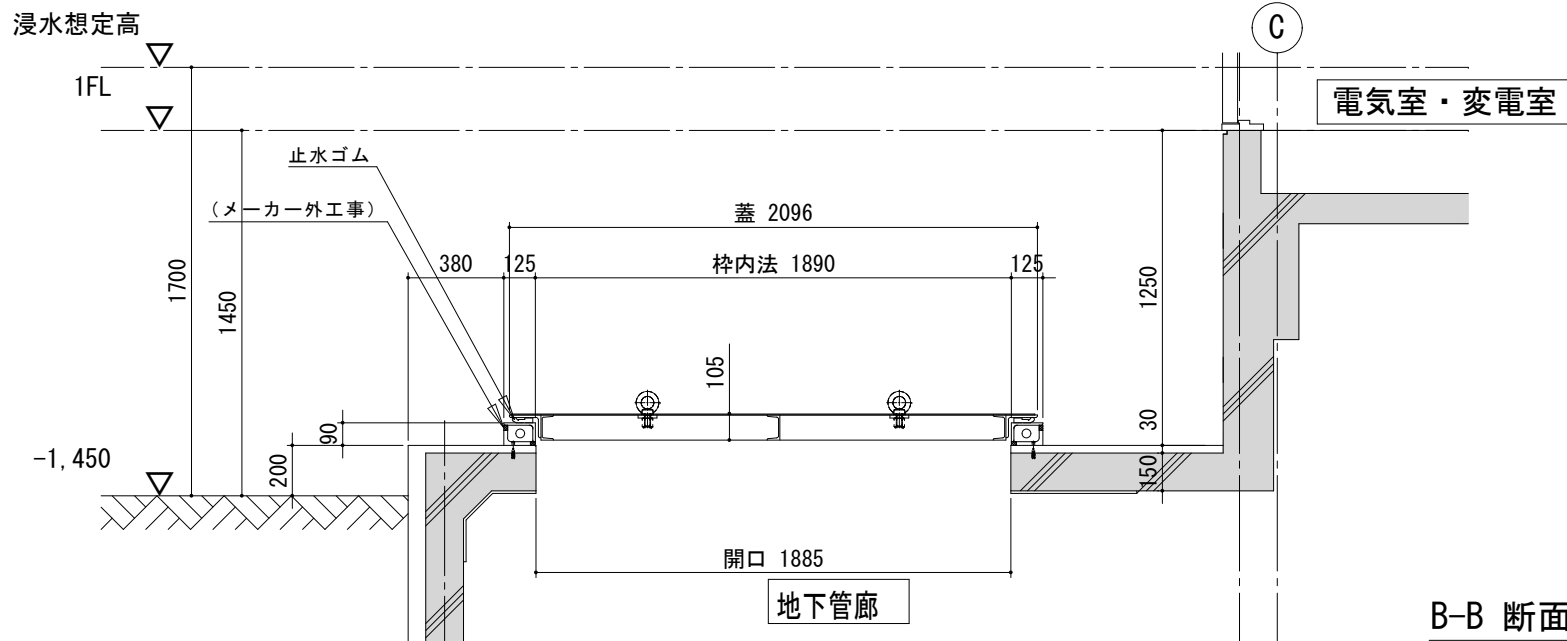




A-A 断面図



平面図



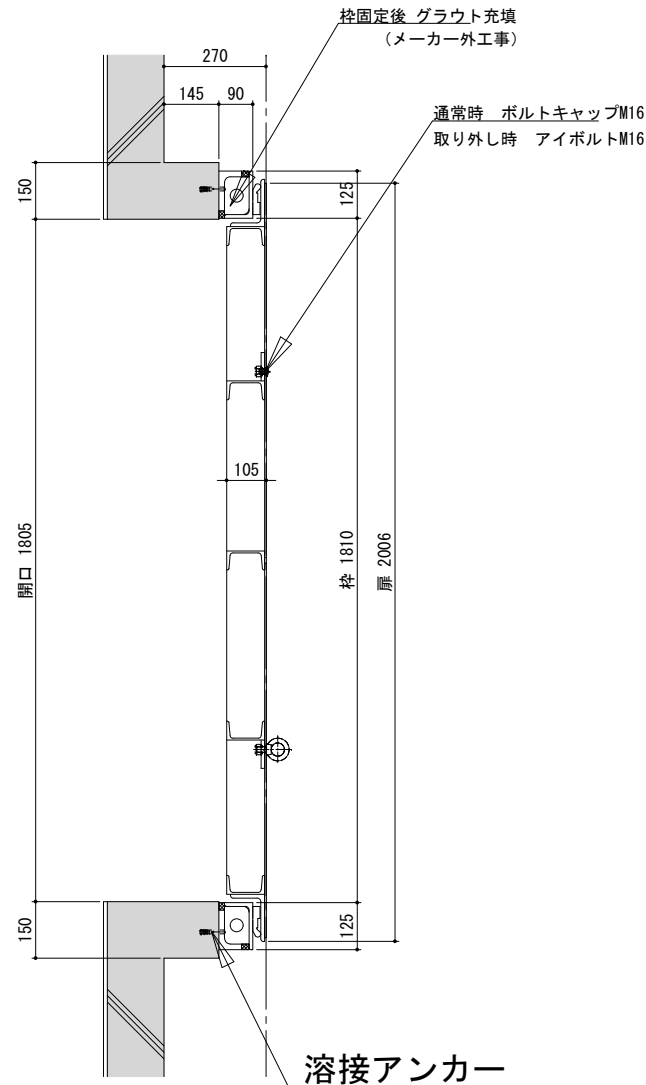
B-B 断面図

水 密 蓋 仕 様	
機 種	平置き式水密蓋 No. 1 (通常時閉)
有効開口	W 3260 x L 1890 mm
設計水深	1.7 m
許容漏水量	0.001 m ³ /h・m ²
主要部材質	骨材: SS400 [-100x50x5 (防錆処理)]
	スキンプレート: SUS304 PL-t5 ポルカPL
蓋重量	≒ 1500 kg
枠重量	≒ 380 kg

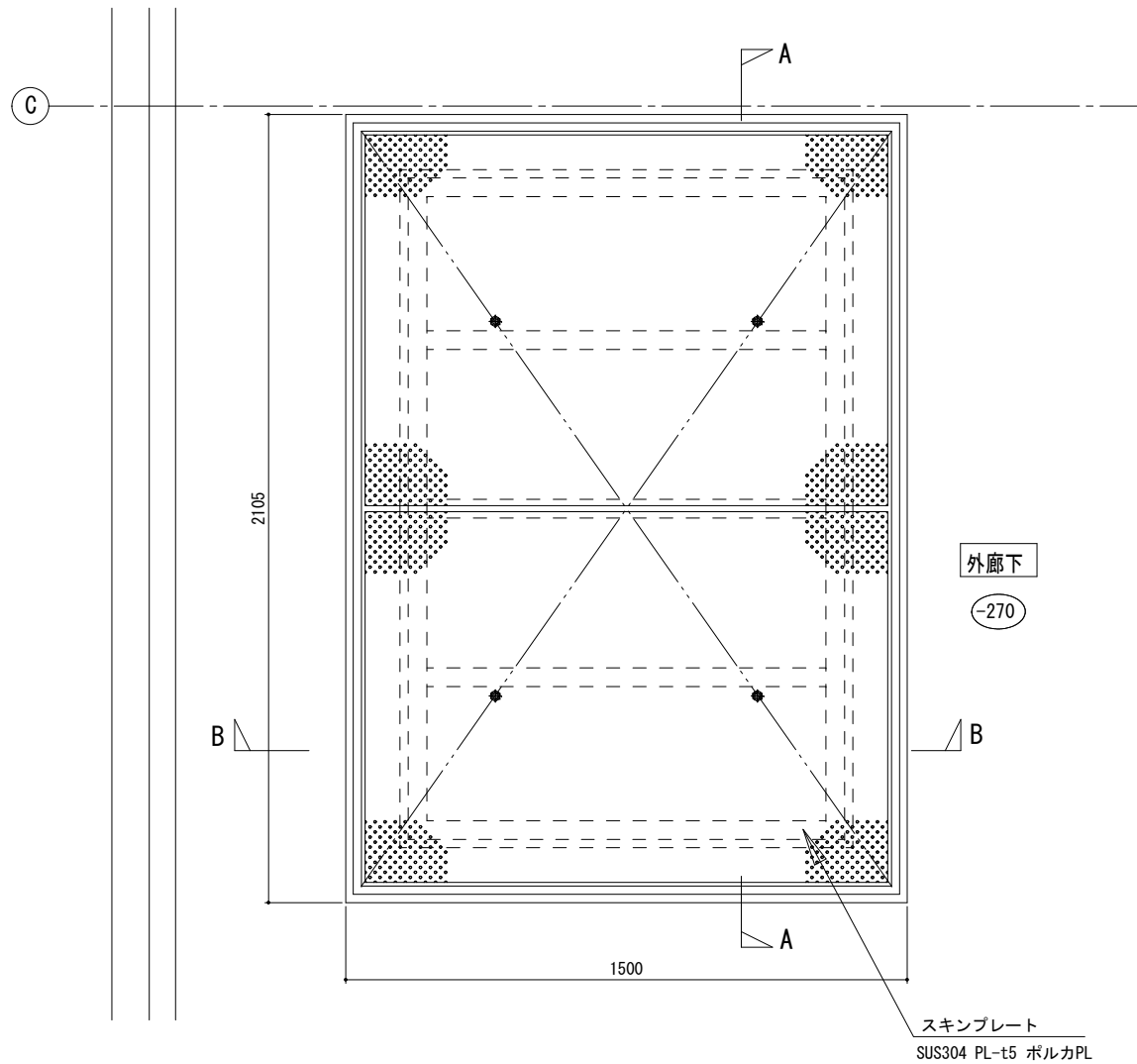
防錆処理: 亜鉛溶射 Zn 50
(亜鉛溶射後 封口処理)
(コンクリート埋設部は素地とする。)

- *グラウト充填
- *シール処理
- 以上 建築工事とする。

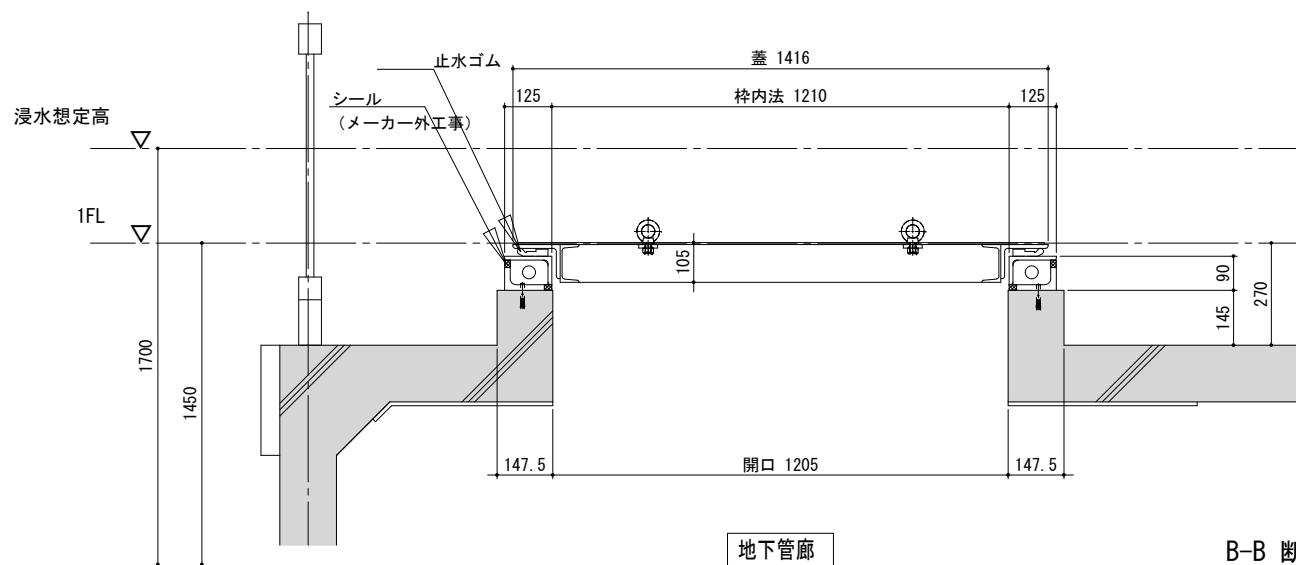
令和8年度	当初・変更区分	当初	図面サイズ	A1・A3
工 事 名	西部浄水場浸水災害対策工事			
工事箇所	春日部市一ノ割1731番地1 西部浄水場			
図 面 名	水密蓋 1 (No.1)			
縮 尺	NONE	図面番号	08	W
春日部市上下水道部 工務課				



A-A 断面図



平面図



B-B 断面図

水 密 蓋 仕 様	
機 種	平置き式水密蓋 No. 2 (通常時閉)
有効開口	W 1810 x L 1210 mm
設計水深	1.7 m
許容漏水量	0.001 m ³ /h・m ²
主要部材質	骨材：SS400 [-100x50x5 (防錆処理) スキンプレート：SUS304 PL-t5 ボルカPL
蓋重量	≒ 450 kg
枠重量	≒ 260 kg

防錆処理：亜鉛溶射 Zn 50
(亜鉛溶射後 封口処理)
(コンクリート埋設部は素地とする。)

- *グラウト充填
- *シーリング処理
- 以上 建築工事とする。

令和8年度	当初・変更区分	当初	図面サイズ	A1・A3
工 事 名	西部浄水場浸水災害対策工事			
工事箇所	春日部市一ノ割1731番地1 西部浄水場			
図 面 名	水密蓋2 (No.2)			
縮 尺	NONE	図面番号	09	W
春日部市上下水道部 工務課				